大正九年十二月十四日第三種郵便物認可

# 新京日日新聞

夕刊　八月二十一日

本紙定價　一部五錢　一ケ月壹圓五拾錢
廣告料金　普通一行壹圓五拾錢　特別一行貳圓五拾錢
發行所　新京永樂町四ノ一　新京日日新聞社
電話　編輯部專用三二二五　營業部專用三三〇〇
發行人　十河榮忠
編輯人　松本勇
印刷人　水越内之介



# 明年度緊縮豫算 廿二億圓限度とする

## 昨日首相、藏相の重要會見

## 赤字公債六億圓限度

【東京國通】廿日の岡田首相と高橋藏相との會見は明年度豫算編成を前にして頗る注目されてゐるが右會見に於ては明年度豫算は國防費産業費の調整、赤字公債漸減を基礎に緊縮方針の徹底を期し十年度と同様廿二億圓を限度とすること等が中心題目となつた、殊に高橋藏相は國民の經濟的餘裕の増進こそ非常時財政建直しの根本たることを述べ之が積極的對策の樹立を最も必要とし次で諸外國に於ける公債に就き詳細説明、岡田首相之を諒承した、即ち政府としては明年度豫算編成に際しては依然緊縮方針を堅持し國民に經濟餘裕を與へる爲増税せず、赤字公債も大體六億圓を限度とするの建前をとる事に兩相の意見一致を見た模様である

# 増税の意圖なし

## 藏相から首相に意見開陳

【東京國通】明年度豫算編成に當り赤字公債漸減の方針から増税を斷行するや否やは一般から非常に注目されてゐたが高橋藏相の眞意は依然増税は時期尚早なりとの見解を持してゐるものの如く二十日葉山別莊で首相と會見の際左の如く所信を述べて明年度には増税を斷行するの意圖なきことを明かにし兩相間に意見の一致を見た模様である

私としては未だ増税の時期に到達してゐないと思ふ、増税をするときは眞に國民生活が安定した時でなければなるまい、それで増税をやるには相當の研究をしなければならぬ、國民生活が安定しないと溺れるものは藁をもつかむといふやうなものであるから斯かるとき増税をやれば却つて惡思想を誘發するおそれがあり、又何處の國でも富豪は現金を持つてゐるものではないから増税をすれば事業資金を回收するやうな事となつて一般産業を壓迫することとなるから仲々簡單にやれるものではない

## 選擧肅正の警察部長會議

今秋行はれる府縣會議員選擧の取締り對策を協議する爲め警務部長會議は十七日内務省及司法省に於て開かれ兩大臣の訓示があつた（寫眞は司法大臣の訓示）

# 對日親善に闘し 汪の外交政策に信頼

## 蔣介石氏漸く覺醒か

【南京廿一日發國通】須磨南京總領事は廿日午後六時、同日朝廬山より歸着せる行政院長代理孔祥熙氏を訪問、汪精衛氏の辭職問題その他時局問題に就き約二時間に亘つて會談を遂げた、右會見に於ける孔氏の談によれば廬山會議の席上駐日大使蔣作賓氏は最近の日本情勢に就き報告したがこれに對し蔣介石氏は對日親善に對する非常なる決意を披瀝し且つ汪氏の外交政策に全幅の信頼を懸けねばならない旨を強調した

## 汪精衛氏 愈よ南京乘込み

【上海廿一日發國通】去る十九日青島より當地に飛來し、同日南京入りをした蔣介石氏との會見場所及び時日につき種々の臆測が行はれその動靜に極度の注目を拂はれてゐた汪精衛氏は二十日午後十時四十五分秘密裡に上海北停車場に現はれ同十一時發の急行で南京に向つた

## 蔣介石氏は日支經濟提携を切望

### ＝蔣駐日大使談＝

【南京廿一日發國通】廬山會議に列席した駐日大使蔣作賓氏は二十日南京に歸着したが同日支那側記者に對し日支經濟提携に關し左の談話を試みた

蔣介石氏及び中央政府要人は等しく日支經濟提携の實現を如實に希望して居る、日華經濟提携は兩國に取つて有益なものとなるだらう余は日本當局との合作促進に努力する

なほ同氏は一兩日中に上海に赴き今月末までには日本へ歸任の筈

# 米價調節の爲

## 政府四百萬石賣却

【東京國通】最近の米穀需給狀態は端境期の切迫と共に民間米の供給不足の現象が益々甚だしいので農林省では政府米を賣つて民間の需供狀態の調節を計るべく、來る二十七日農相官邸で米穀統制委員會を開き賣却の諒解を求める事となつた、其の數量は大體四百萬石、賣却形式は端境期近い事故に買換へに依る賣却と見られてゐる

## 治法撤廢と課税權の容認

# 税率徴税機關 八月末迄に現地案なる

## 急激なる負擔増加を防ぐ

治外法權撤廢の第一歩として在滿邦人に對する課税權の容認は昭和十一年一月から實施することに内定したが税率並に徴税機關等に關しては目下現地委員會並に幹事會において考究中であり、八月末までには現地案が完成するものとみられてゐる、而して附屬地内外共同率の課税を行ふことに意見の一致を見てゐるが税率に關しては居留民の急激なる負擔の増加を防ぐため恐く暫行的なものをもつて臨むものとみられてゐる、又徴税機關については課税權の移讓が滿洲國財政の確立を根本精神とする建前から徴税機關が日滿側何れに屬するとしても課税權の移讓によつて滿洲國財政の確立を擁護する手段が採られる筈である

# 各方面注視の

## 大藏、陸軍の懇談會

【東京國通】明年度陸軍豫算編成に關する大藏陸軍兩當局の懇談會は永田軍務局長遭難事件のため延期されてゐたが二十二日午後陸相官邸に於て開かれる事になつた當日大藏省側からは津島次官、賀屋主計、青木理財、石渡主税各局長及び入江豫算課長、陸軍側からは林陸相、橋本、土岐兩次官、今井軍務、平手經理、山岡整備各局長、橋本軍事、大城戸主計兩課長其他關係官出席、大藏當局から現下の財政狀態、昭和十一年度以降の財政方針、公債政策、赤字公債の漸減方針等に就き詳細説明を行ふ筈である、之に對し陸軍當局は現下の國際情勢、殊にソ聯の極東に於ける軍備の充實狀況、航空部隊の擴充狀態等に就き詳細説明陸軍として之に對應する爲の航空部隊の充實關東軍の整備、作戰資材の整備等は刻下の急務であつて之に必要なるものとして要求してゐる明年度以降の國防計畫は最少限度の要求である事に就き諒解を求める意向である

# 長岡總務廳長の吉林行日程

長岡國務院總務廳長は松木秘書處長、中島、尾花兩囑託、佐藤總務科長其他

一行を從へて來る廿二日午後零時五十六分着列車にて吉林に赴き就任以來初の地方巡視をなすことになつた、赴吉の目的は日滿傷病兵の慰問と日本側各機關視察であるが第一日目は先づ吉林神社、孔子廟に參拜後總領事館、〇〇隊司令部、第〇大隊、日本衛戍病院、日本憲兵隊、特務機關その他滿洲國側主要機關を歴訪し夜は午後六時半より吉林倶樂部に於て開催の李省長の招宴に臨み第二日目（二十三日）は午前九時より一時間半に亙り省公署に於て李省長以下各廳長よりの管下政情報告を聽取、それよりランチにて松花江岸を視察午後は二時より四時迄省公署應接室にて一般官民と面會、午後四時より市中見物をなし同六時半より吉林倶樂部に於て各機關首腦者を

招待

二十四日午前八時四十一分發列車にて歸京する筈である



# 百名を越へるか

## 關東局警察管下の勇退者

【大連國通】關東局管下警察署内の巡査部長、巡査級の異動は既報の如く相當廣範圍に行はれ老朽淘汰の意味を含めて各署では夫々辭職願を受けつけてゐるが、大連署では古參者中泊、武末兩部長、阿部巡査、黑岩刑事以下數名が辭表を提出してをり水上署でも田上部長以下四名が勇退するものと觀られ沙河口署、小崗子署を合すると大連四署のみでも廿名以上の勇退者を見る模様で關東局管下全署を通ずればこれ等勇退者は百名を越える未曾有の數と見られるが右は何れも今回の關東局警察部の新進拔擢、老朽淘汰の方針によるものでこれによつて關東局警察界にも一脈の新鮮味を漂はすものとして各方面から注目されてゐる

## 床次遞相 けふ松岡總裁と會見

【東京國通】床次遞相は病氣快方に向つたので二十日望月圭介氏と會見したが更に廿一日は近く渡滿赴任する松岡滿鐵總裁と會見することとなつた、尚遞相は廿二日内田鐵相と會見の筈

## 床次遞相 病氣快方

【東京國通】床次遞相は過般來病氣のため西大久保の私邸に於て靜養中であつたが最近食欲も進み快方に赴き廿日は午前十時見舞の爲め訪問した望月圭介氏と約二十分會談した、今月中私邸で靜養來月はじめ轉地靜養する事となつた

## 松村少佐 明朝發赴任

陸軍省新聞班情報主任に榮轉の關東軍新聞班松村少佐は明廿二日午前七時ヒカリにて赴任の途に就く

## その日く

□ 滿蒙會商再開打合せに神吉代表近く來京、先様に誠意なければどうも…

□ 地方委員選擧戰近づき、新顔そろ／＼名乘りをあげる、揃ふまで見守つてゐやう

□ 蔣介石氏は日支提携を望んでゐる由、今更のやうな話ではあるが……

□ 濱北鐵線のゲーヂ變更實況放送準備なる、近代世界に於ける將に劃期的事象

□ 朴敬元孃の遺志を繼ぎ李貞喜孃訪滿飛行を計畫在滿朝鮮人のため氣を吐くもの

## 人事往來

▲竹下豐次氏（關東州廳長）二十一日午前發大連へ
▲三井爵水氏（滿日顧問）二十一日來京同日ハルビンへ
▲御影池辰雄氏（關東局文書課長）同
▲張君度氏（中國銀行新京支配人）同奉天へ
▲東海林太郎氏（聲樂家）二十日午後來京ヤマトホテル投宿
▲藤田謙一氏（貴族院議員）同
▲吉田要次郎氏（東京會社員）同
▲下村純二氏（福岡會社員）同
▲池田嘉六氏（滿鐵囑託）同
▲田中信良氏（同）同
▲富田治彦氏（東京會社員）同
▲久留垣三氏（三井物産社員）二十日午後來京名古屋ホテル投宿
▲二宮眞氏（大阪製紙業）同
▲武川盛次氏（西宮武川ゴム會社々長）同
▲佐野茂氏（大阪會社員）同
▲矢中重輔氏（奉天滿洲棉花公司重役）同
▲竹淵槇次郎氏（公主嶺大林組）同
▲鴨川廣正氏（ハルビンセメント會社員）同
▲森廣鑑治氏（同）同
▲河上傳次郎氏（ガラス製造業）同
▲河上耕一郎氏（同）同
▲鎌田彌助氏（滿鐵社員）同
▲加賀本一美氏（代議士）廿日午後來京
▲張燕卿氏（外交部大臣）同大連へ
▲吳元敏氏（吉林地區警備司令官）廿一日午前發吉林へ
▲河本大作氏（滿鐵理事）同歸京
▲七田積氏（奉天鐵道事務所事務課長）二十日午後來京名古屋ホテル投宿
▲岡山少將二十一日正午發內地へ
▲小林光雄氏（三和電氣）二十日來京中央ホテル投宿
▲大山庄一氏（錢鈔業）同
▲藤田金藏（會社員）同
▲藤野嘉一郎氏（滿鐵）同
▲服部昇一氏（三井物産）同
▲神守標一郎氏（滿鐵）同
▲小池吉郎氏（教員）同
▲岡本虎男氏（航空會社）同

## 女八人鑛區時代 最後の切札八枚（合作）

### 戀は冒險の峠 曉の中に（23）　木下双葉作

しかし、女礦夫と役員との結婚は、絶對に許されない規則になつてゐた。だが、特にお佐世の超人的行爲を認めて、今度の場合はその希望を叶へる事になつたのです。

お佐世としての喜びは云ふまでもなく、田坂に取つても急に前途の光りを發見したやうな嬉しさであつた。

「田坂さん。今度こそ妾達、ほんとに幸福になれますわ」

「これも、お前の働きだよ。僕は感謝するより外に言葉がない」

「感謝なんかして貰はなくてもいゝー妾、ほんとに嬉しいわ。生れてから、まだこんなに嬉しい思ひをしたことがないわ」

お佐世は、田坂の胸に顔を埋めて、一杯の愛情をこめて云つた。

「たゞお佐世。お前によくあんな冒險な眞似が出來たねえ」

田坂が、今更のやうに感慨深く云つて、お佐世の肩に手をあてると

「だつて、あたし。田坂さんが死んでしまへば、生きて居れない氣持だつたから、どうせ死ぬんなら、一緒に死んだ方がいゝと思つたの……それに坑夫さんが、横坑から通風戸を壓すことを教へて呉れたので、どうせ死んぢまふつもりで、あの廢坑へ飛込んで行つたの……」

「僕も、今度ばかりはモウ駄目だと思つて、坑夫達と共に手を取つて死の國へ旅立つ所だつたのだ。誰かが上の方で變な音がすると云つた時には、發掘作業だとは思つたが、まさかお前が來てやつてゐるとは夢にも思はなかつた……實際天井から空氣が漏れてきておれだと云ふことが判つた時には夢を見てゐるのではないかと思つたよ。僕は生れてこんな強い喜びの感謝に打たれた事がない」

「……」

「僕として、一生涯忘れることの出來ない記憶に殘るだらう」

田坂は、當時の劇的な光景を思ひ浮べて心から嬉しさうに云つたのです。お佐世も、夢見てゐる様な幸福に浸りながら、

「妾だつて、貴方の無事な顔を聞いた時はどんなに嬉しかつたか知れない。だつて十のものなら九つまでは、モウ駄目だと思つてゐたんだから、萬が一にもと、ほんとにそれは僅な望みをかけてした事が、圖に當つて、みんなが無事でゐたんですもの……あの時は、妾、聲も出ないくらゐ嬉しかつた……妾だつて一生、忘れられやアしないわ。ねえ、田坂さん……」

「うん」

「何を考へてゐるの？」

「僕は今、あの時の嬉しさを思ひ出してゐたんだ。……ねえー二人は一生此事を忘れないで、愛し合つて行かうねえ」

「えゝ」

田坂とお佐世は、今更のやうに堅く手を握り合つてゐたのです。嘗ては、人眼を忍んで語り合つてゐた石炭の山のかげに、今は公然と、公衆の前で會ふことが出來るやうになつた。

やがて一ヶ月の後。お佐世と田坂は結婚したのです。今までは、闇に閉された様な運命であつた彼等は、恰も、明けて行く曉の中に立つてゐるやうに、如何にも晴れ々々として、新らしい世界を歩み出してゐたのです。（完）

# 京圖線今朝七時から
# 漸く平常通り復舊
## 崖下に墜落した貨車引揚げは
## なほ五、六日かゝる

京圖線南溝亮平台間における貨物列車匪襲事件のため列車不通となつた箇所は鐵路局員の必死の復舊作業で漸く今朝七時から開通をみた、なほ四メートル下に墜落した貨車の引揚げ作業には五、六日を要するものと見られる

## 慘殺された車掌は
## 滿人『張振金』君
### 行方不明の火夫も歸來か

京圖線匪襲の詳報は直通電話が不通で連絡困難のためいまなほ不詳であるが、慘殺された運轉車掌は

圖們列車段 張振金

と判明、敦化機務段火夫平守財は機關車の下敷きになつてゐる模様、なほ行方不明を傳へられた火夫某は歸つて來たとの情報もあるが判然としない

## 錦州省西土默特
## 匪賊に包圍

興安南省公署より蒙政部への入電に依れば奈曼旗公署を襲撃して撃退されたる匪賊と關係ありと思はれる二千の匪賊が錦州省の西土默特を包圍してゐるが同地には目下南警備軍の粟野部隊があり遠からず匪賊を全滅するものと思はれる

## 種馬一頭
### 何んと十七萬圓
### 下總牧場で英國名馬購入

【東京國通】宮内省の下總牧場が過般來歐洲出張中の農林省馬産課長横尾潤氏に依賴し約二十萬圓の豫算で種馬を購入すべく種々詮衡中の所愈々一九三〇年度英國ダービー競馬の三着馬として有名な英國産サラブレッド種サマライト號九才と決定した旨報告があつたこの交配價格は九千六百磅即ち約十七萬圓で、日本最高のものである到着後は下總牧場で飼育する筈であるが、優良馬産出が期待されてゐる

滿鐵夏期大學第一日 (昨夜商業學校講堂で)

## 恩賞局に
### 臨時職員增置

滿洲國政府では今後二年間に完了の豫定を以て建國功勞者に其の勳功を表彰することゝなりこれがため恩賞局の事務は臨時增大し其の常員では到底處理すること困難なので多數の雇傭員を使用し之が指導及監督に屬官三人を增置することゝなり二十二日勅令を以て恩賞局に臨時職員增置の件が公布されるはずである

## 「滿京」の炊事夫
### 盜む

原籍山東省生れ李興芝(二七)は本年四月頃より新京特別市北門外西五馬路七十四料理店滿京こと滿江スガ(四四)方に炊事夫として傭はれ中、二十日家人の隙をうかゞひ奧十疊間帳場の抽斗より現金百二十圓を竊取逃走した

# 近づく地委戰に
# 一番の名乘り
### スポーツ人を標榜して
## 新顏の高橋氏起つ

來る地方委員選擧に早くから立候補を志してゐた地方事務所社會係勤務高橋清輝氏は最近いよいよ最後の決意を固め二十一日各候補のトップを切り第一番の名乘りをあげた

氏は岩手縣の人大正十四年中央大學を卒業、警察界にあり、後實業界に轉じて拓植産業開發に從事した、昭和九年三月荒木前所長の紹介で社會係に籍を置き、專ら體育を擔當し新京スポーツ界に獻身的に躍動してゐる、また一面熱心な武道論者で近くは新京武道獎勵會創設に力を盡し日本武士道鼓吹を强調してゐる

法律科を修めた關係上地方行政方面にも相當な抱負をもち二十七歳の年早くもその力腕を認められて岩手縣御堂村長に推された事さへあり、苦學力行の人だけあつて人情あり感激性に富みスポーツ人の衆望を集めてゐる

なほ今回の出馬に際しては地方事務所は監督機關としての立場上幹部間に相當異論あつたが氏は當選とともに九月三十日限り地方事務所の現職を辭する悲壯な決意を以て堂々出馬することになつたものでスポーツ關係を根城に十二分の確信をもつてゐるやうである

## 選擧權の有無
### 地方事務所から一般へ
### 更めて注意を喚起

地方事務所では地方委員選擧も次第に近づいたので、選擧權並にこれが行事に關し二十一日左記の通り一般に注意を喚起した

一、選擧有權者とは本年二月一日新京附屬地内に居住し

選擧名簿の調製期日(八月二日)において公課金を負擔し、更に引續き選擧當日(十月一日)これを負擔するものをいふ

二、選擧權を行使し得るものは前項の公課金を昭和十年九月二十八日まで完納せられたるものに限る

三、選擧權の行使は絕對に代人を以てなすことを得ず但し二十歳未滿の者にありては親權者の代行は差支なきも親權者たる資格を登記したる戶籍謄本を添付し九月二十八日まで屆出ること

なほ選擧場の入場券は九月十五日を以て交付し、また公費を負擔するも選擧權のない者に對しては前以て通知することになつてゐるが、前回の選擧によると九月二十八日の名簿確定間際に至つて滯納公費の納付方を申出で遂に間に合はなかつた例が少くなかつたとのことで當日は午後二時を以て納入締切を決した

# 京濱線ゲージ變更
### 實況放送
# 準備を急ぐ
### アナウンサーの役割決る

來る卅一日午前五時を期して京濱線全線二百四十キロの歷史的ゲージ變更工事のハンマーの響を始め工事從事員の

### 僅か

三時間における沿線の技術實況を電波を通じて日滿兩國民に報道するため新京及びハルビン放送局ではハルビン鐵路局、軌間改築新京支部と協力準備を進めてゐる、當日の放送狀態はまづ新京放送局の佐藤アナウンサーが午前六時から同三十分まで一間堡驛(寬城子の次)に備へたマイクの前に立つて第十五班(班長田村工務段長)のゲージ變更工事の寬況及びハンマーの響に始まる、なほ同時刻はラヂオ體操の時間に

### 相當

するので當日はラヂオ體操放送は中止される、終つて同十一時半から陶賴昭驛で新京及びハルビン放送局員が集つて實況放送を行ふ豫定であるがその前に當日陶賴昭で放送する新京放送局の山崎アナ及び滿人アナは新京發の始運轉列車に便乘し沿線のゲージ變更された直後の實況を見聞して陶賴昭に至り(同樣ハルビンからもハルビン局員が同時刻に始運轉列車で陶賴昭に到着)こゝでハルビンと新京兩放送局員が纏めて日滿兩國語で實況放送を試みる、これよりさきに新京放送局の美濃谷アナウンサーは前夜の終列車で陶賴昭にいたり陶賴昭のゲージ變更情況及び新京、ハルビンから同時刻につく試運轉列車の陶賴昭に滑り込む情況を逐次に放送することになつてゐる

# 農安縣下のペスト
# 益々猖獗の模樣
## 滿鐵保健所への情報

農安縣下のペストは益々猖獗を極めつゝある模樣であるが二十日午後滿鐵保健所に入つた情報は次の如くである

▲通遼ペスト調査所より情報 雙山現地よりの確報によれば戶數九、人口八十六名八月三日より十三日まで十三名死亡、逃走者は悉く判明目下懷德縣玻璃城子二十七名、雙山縣ショウ、ヨオシンに八名、長嶺縣新安溝に一名あり現患八名ありいづれも三十九度乃至四十度の發熱あり頭痛眩暈呼吸困難なり鼠 腺腋下腺大豆大乃至鳩卵大に腫し疚痛あり

▲二十日午後五時京大線高家店よりの情報 高家店を距る西北方十五滿里宮家店部落にペスト樣患者發生死亡者十名現患者一名あるも約十五日前に發病して體溫三十七度一分にして現患者にはペストの疑なし、宮家店部落民(人口六〇)は約一里を離れし東大平橋に逃走して八、九名位居住す

▲二十日午後十時二十五分通遼調査所よりの報告 雙山縣謝家窩屯にて本月近く死亡せる屍體(肝臟)には動物試驗培養試驗の結果ペスト菌を認めず、現患あるにつき新しき材料につき再試驗の豫定、なほ現地よりの報告によれば現患者はペストの疑濃厚なり

## 中國四國に
## 病源不明の
### 流行性腦炎蔓延

【神戶國通】最近岡山、兵庫、廣島、鳥取、香川、高知各縣に病源不明の流行性腦炎蔓延し兵庫縣だけで百廿一名然も九分九厘まで死亡し各縣狼狽して防疫に必死である

## レコード檢閲
### 關東局大連署
### 廿五日から

【大連國通】蓄音器レコードの取締檢閲に就ては旣報の如く關東局及び大連署の兩所に於て來る廿五日より行ふこととなつたが大連署では廿一日右檢閲の蓄音器二臺をコロンビア蓄音器大連出張所から夫々百圓で購入した、之によつて廿五日からは關東局及び大連署の嚴しい御役所からレコードの音が聞えることとなるわけである

## 朝鮮人を
## 代表
### 金民會長近く
### 出馬か

來る地方委員選擧に朝鮮人民會を代表して何人かを推擧すべくより〳〵話が進められてゐたが結局現新京朝鮮人民會長金道根氏を最適任者として兩三日中に情勢を見た上で起否を決定することゝなつた現在朝鮮人としての有權者は約三十名程度である

# 大房身匪襲人質
# 一名奪還さる
## 討伐隊の苦心奏効

十四日午後十一時頃新京近郊大房身部落に約四十名の匪賊が襲來し人質三名と現金二千餘圓を掠奪逃走した

### 事件

につき首都警察廳は直ちに管下各署に手配匪賊の掃蕩につとめてゐるが匪賊は繁茂せる高粱畑を巧みに利用して姿を晦し討伐隊は連日の降雨と泥濘に惱まされつゝも足跡を辿り追擊をつゞけてゐる、二十一日午前九時頃小合隆署より首都警察廳への報告によれば十九日章家窩堡に於ける約三十名の自衞團と匪團との戰鬪に於て拉致された人質劉憲文(十二)を奪還更に二十日鍋店駐屯滿洲國騎兵團五十名の猛襲に匪團は大狼狽し人質劉柱子(二五)を高粱畑中に

### 遺棄

して逃走人質は無事軍隊に救助された、なほ匪賊は西北方に逃走をつゞけ二十日夜農安縣下に逃れてゐるが目下討伐隊は追擊してゐる

## 廿三、四日より
## 幇間珍藝大會
### 記念公會堂で

全滿花柳界の人氣者幇間連による「全滿幇間珍藝大會」は各地に於て好評を博してゐるが、來る廿三、四日の兩日當地記念公會堂に於て開催することゝなり、名に負ふ藝達者連のことゝて、御贔負筋は勿論一般よりの人氣凄じいものがある

## 教育精神
## 作興大會

滿鐵初等教育研究會主催の下に二十四日白菊小學校で教育精神作興大會を開催、午前八時四十分集合忠靈塔に參拜し、九時三十分擧式、十時三十分研究發表、午後一時三十分から講演會に移り終了後懇親會を開くはず

## 二十日會
## 八月例會

知識と意見の交換を目的に結成され毎月集會し來つた新京二十日會では昨二十日午後四時半から扶桑グリルで例會開催、奧村、山口兩會員よりそれぞれ「滿洲に於ける傳說」「滿人作家について」の報告ありそれより北支問題、匪賊問題滿洲國人事の問題等につき種々意見を交換し七時半散會した

### 今晩の主なる放送プロ

▲五・〇〇子供の時間(大連)獨唱とピアノ獨奏▲七・〇〇管絃樂(東京)アルス管絃樂團▲七・二〇淡路島の夕(淡路島洲本公會堂より中繼)▲七・五五連續ラヂオ・ドラマ「已が罪」(東京)

### あす (廿二日)

△名中等學校第二學期始めそれ〴〵始業式を擧行

△藤倉電線對新京野球第二回戰 二十二日午後四時十分 西公園球場

### けふの銀相場

| | |
|---|---|
| 國幣對金票 | 一〇四三〇 |
| 鈔票對金票 | 一三四三〇 |
| 國幣對鈔票 | 八四三〇 |
| 現大洋對鈔票 | — |

## コンディション惡く
# 成績芳しからず
### 昨日の新京水泳記錄大會

新京水泳記錄大會は二十日午後三時から白菊町滿鐵プールで選手の入場式、ついで五十米自由型により花々しく擧行されたが、雨上がりと新水のためプールのコンディション惡く好記錄を見ることが出來なかつた、成績は左の如くである

▲五十米(自由型)
一、林原壽(滿鐵)三〇秒五
二、楠田一三(市中)五二秒
三、貝田治(商業)

▲五十米(背泳)
一、大久保六郎(滿鐵)四二秒
二、荒木廣(工學院)

▲百米(自由型)
一、岡繁雄(市中)一分一一秒五
二、大久保六郎(滿鐵)一分二〇秒九

▲二百米(自由型)
一、林原壽(滿鐵)二分五〇秒六
二、福井航三(滿炭)二分五九秒六

▲五十米(平泳)
一、分須勇治(京商)四一秒五秒
二、田坂勳(熊平洋行)四五秒
三、淺野喜久雄(京商)五〇秒

▲四百米(自由型)
一、大久保六郎(滿鐵)六分五五秒六
二、福井航三(滿炭)七分二秒六

▲女子部は棄權

### 全國中等野球優勝戰

| 回數 | 一 | 二 | 三 | 四 | 五 | 六 | 七 | 八 | 九 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 松山(先) | 1 | 0 | 0 | 5 | 0 | | | | | |
| 育英 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | | |

## 小學校教員團
## 庭球戰

全滿小學校教員團對全新京庭球戰は來る二十五日(日)午前九時より西公園コートにて開催の筈で全滿教育團選手の强味は既に定評ありどの程度まで全新京軍が奮戰すべきかゞ當日の見物とされてゐる尙は試合組數は十二組で一兩日中に兩軍メンバーを發表の筈

## 武道打合せ
### 奉納試合など

二十一日午後四時から新京署内に武道家達が集まり左記打合せをする

一、二十六日佐賀縣劍道部來京に關する件
二、全滿柔道有段者會段別選手權大會豫選會に關する件
三、神社大祭奉納試合に關する件

### 仙人掌

先夜のラヂオドラマ遺聞▲はじめは北條たま子に一役買つて貰ふつもりで交渉に出掛けたのだつた、所が北條君はそうとう痩せて或るアパートの一室にその一黨に看護されつゝ靜臥してゐた、身体がこんなでなければねえとは確かに言つたんだがと交渉委員の報告で▲次には一同人の提議でロートルに誘ひに行つた「腰が惡いから」とか何とか言ふのを理論と實證とで改めりしてどうやら話がまとまりかけてゐた所に本紙の夕刊が回いて生憎くその仙人掌にこゝの眞澄その他のことが書いてあつた、別に嘘や惡いことは書いてなかつたそうだが眞澄が大憤慨してとう〳〵交渉はおぢやん、この日の交渉係ロートル諸君命名する新のカタマリ君は一圓八十五錢がとこ切つて損してしまつたと大しよげだつた

### 天氣と氣溫

明日の天氣 北寄の風晴時々曇
日の出 午前四時五十分
日の入 午後六時三十三分
月の出 午後十時五十一分
月の入 午後二時九分
けふの氣溫 最高 二十五度九 最低 十五度八

# 誰が殺したが

（續上映）國枝史郎氏作　龍造寺畫

四五　第二の殺人　一五

「どうぞおきゝ下さい。それやあ隠れてこんな事をする女には色々な理由もあるでせう。堕落した女もゐるでせう。けれども私の知つて居る人は、みんな、生活の為めです。誰がこんな事を隠れてしたいものですか、警官の目を忍んで世間様へは恥を忍んで誰がかうい ふ事をしたいものですか。ねえ旦那様私の夫はお役所へ勤めて居た安月給取だつたんですけれど、この度の緊縮整理で首になつてしまつたんです。世の中は不景氣になるばかりでせう。私だつてこんなことをしないで、どうかして眞面目に働いて行きたいと思つたんですけれど旦那様、もう女にも職業がなくなつてゐるんですよ。私毎日探して歩いたの、その内もう二人で食べられなくなつて來たのよ。夫は體が弱いものだから、勞働も出來ませんしほんとに乞食になるより仕方がないと思つてる時、こゝのおかみさんに助けていたゞいたんです。どうぞ旦那様、今日だけは見逃して下さい。この通りお願ひしますわ。お願ひします……」

そして女は袖の袂で一杯の涙をおさへた。

星野探偵は私立探偵であるだけに云ふまでもなく、これは見逃せることに外ならなかつた。目的は他にあるのだから。

「おかみを呼んで來い。お前の泣き事を聞いた所で仕様がない」

女は諦めから解放されたやうに悄しく出て行つた。するとおかみは部屋の外から何か、甲高い聲をあげて荒つぽく入つて來た。

「何だね。探偵が何だい。刑事なんか驚きやしないよ。私やあもう覺悟をきめてゐるんだから。けふばかりは私がぬかつて居たんだよ仕方がないさ。ねえ、刑事さん探偵だか刑事だか知らないが私にどんな用があるんだい」

おかみさんは目を引き釣らして蒼い顔をして、酷く昂奮して入つて來た。片手に赤ん坊を抱へながら。

「ちよつと君に聞きたいことがあるんだ」

「ええ、私でね、分ることなら何でも答へるよ。私の分らないことは口を割られたつていはれやあしないよ。はは、又これで二十九日拘留かね。この間出て來たばかりなのに、しやうがない。こんなにうるさくするなら、警視廳でも一つそ私を食はして置いてくれるなら尚いゝんだけれど。一生食はしてねえ、それも出來ないだらう。喰へなくなつてこんなことをすれやあ、又ふんつかまへられる。どうとも勝手にしやがれ、さ、何でも聞くがいゝよ。私もね金歯のお染といはれた女だ」

「ふ――んなる程、凄い度胸だな然しおかみ、君も金歯のお染と呼ばれる位だつたら、俺に隠し立てをしないだらう。實は俺は私立探偵だ。密告するのは譯はないが魚心があれや水心つていふものだ。君が正直にきかしてくれるなら何も俺やあ強ひて密告する必要はないんだから、まあ安心するがいゝや」

「どんなことだね、早くいふがいゝさ」

「君は知らないんだらう。桜山正三つて亭主が情夫を持つてゐるだらう」

「何をいふんだね。そんなケチ臭い名前なんか、聞いたことあれやあしないや」

その時二階で慌しく襤褸を飛び出す物音がして誰かゞ逃げてゆくやうな氣配が感じられた。——

（切繪　宇野實三作）

## 文藝浪曲の創始　酒井雲來演！

來る廿七日より公會堂で

文藝浪曲の創始酒井雲一行廿余名は目下大連において開演好評を博してゐるが、一行の新京乗込みは既報の如く來る廿七日と決定、同夜より三日間に亘り記念公會堂に於いて楠乃屋興行部主催の下に得意の文藝讀みものを掲げて華々しく蓋を開けることゝなつた尚今回は特に左の如く毎夜一曲づゝの新作ものを御披露に及ぶはずで浪曲ファンには期待するところ大なる物がある入場料は大人一圓五十錢、學生軍人八十錢、小人三十錢前賣券市内理髮店其他で發賣中

初日　關ケ原
二日目　三十萬石の屁
三日目　雪の渡り鳥

映畫と演藝

●日活太秦發撃●

## 清水の次郎長

一二十三日より一　新京キネマ上映

原作……池田富保
脚色
監督
撮影……町井春美

―キャスト―
清水次郎長…河原崎長十郎
森の石松…小林重四郎
小川の勝五郎…山本禮三郎
深見の長兵衛…中村吉右衛門
保下田の久六…鬼頭善一郎
お蝶…水之江澄子
お君…深水藤子
お由…マキノ智子

『剣雲薩摩歌』に次ぐ池田富保の監督作品「段七しぐれ」以後の前進座の第二回目と記憶するが、確か第二のトーキー進出である、映畫俳優と舞台俳優の合同になる顔振れに色んな興味の持たれる作品である

◇

（梗概）―義によつて横暴無類の甲州賞元猿屋勘助を斬つた清水の次郎長は逃れて天龍を下る、従ふは女房のお蝶に森の石松、茶摘唄が聞えて來て、森の石松には清水港に残して來た可愛いゝお君のことが偲ばれてならない、尾州有松宿附近で次郎長は病に倒れたが、一宿一飯の恩義に報ゆる小川の勝五郎に救はれる、然し何時までも勝五郎の世話になるのも心苦しく以前次郎長が情をかけてやつた保下田の久六方に身を寄せる、だが邪悪な久六は恩義を忘れて十手を笠に逆境の次郎長を捕へやうとする、然も女房お蝶は夫の身を案ずる余り病を得て寂しく死んで了ひ、この悲嘆は次郎長の病を一層悪くした時に深見の長兵衛の義侠は病の次郎長を引受け、眞心こめた面當の甲斐あつて病は快癒するが一方非道な保下田の久六は代官竹垣五郎兵衛と結託して長兵衛宅を襲ひ、身を以つて次郎長をかばつた長兵衛を斬罪に處して了ふ、難をのがれてこれを知つた次郎長は石松、勝五郎、大政等を引きつれ、長兵衛の一子友之助を背負つて保下田の久六を襲ひ復讐の刃を血ぬらせる―とい ふ讀み切りの一篇（廿三日より新京キネマ上映）―スチールは河原崎長十郎と水之江澄子―



## シーズン控へ　長春座の陣容

涼風と共に秋のシーズンも間近に迫り各館とも鋭意優秀プロの編成に專念してゐるが、長春座八月三十日以降のプロを左の如く決定、また新京キネマでもチヤツプリンの「街の火」の再上映、佛トビスの音樂映畫、樂聖ショパンの若き日の戀に取材したボルヴァリイの「別れの曲」等が用意され、帝都キネマでも又秘かに大物を狙つて準備おこたりなく、シーズンに入ると共に俄然活況で賑ふことと豫想される

△八月三十日―九月四日

第一映畫社　トーキー
名物三人男
監督　石本統吉
主演　鈴木傳明
　　　中野英治
　　　月田一郎

下加茂　トーキー
猪太郎時雨
監督　星哲六
主演　結城一朗
　　　大内弘

コロンビヤ特作
青空天國
監督　フランク・ボザーギ
主演　スペンサー・トレーシ
　　　ロレッタ・ヤング

△九月五日―十一日
蒲田オールサウンド版
海の兄弟
監督　佐々木啓祐
主演　桑野道子
　　　南部耕作
　　　日守新一

右太プロサウンド版
浪人大平記
監督　古野英治
主演　市川右太衛門
（特別出演）阿部正三郎
　　　白石明子

K・R・O特作喜劇
世界一の金持娘
監督　ウイリアム・サイター
主演　ミリアム・ホプキンス
　　　フエイ・レイ、ショエルマン
　　　クリイ、レヂナルド・テニイ

### 雜音

夏枯れ時もどうやら過ぎた、と云つても新京では暑くても寒くても大した影響はないらしくどうかと云へば暑い時など内地の夏枯れのお蔭で演藝界は活況を呈してみせたりする、アウト・シーズンに音樂會が三つもあつたりした▲でも矢張りシーズンの呼聲がかゝるとそこはかとなく活氣づくものではあるらしい長春座では大變な金をかけて据付けるスウパー・シムプレツクス映寫機とウエスタン發聲機が九月初旬までには御披露出來るといひ他の二館でも大ものをかけるといふ▲これで三館にみなウエスタンが揃ふ譯だが長春座の言ひ草ぢやないが同じウエスタンにもピンからキリまであるさうで何處がピンで何處がキリか活動を觀るのもたやすいことではなくなつた▲發聲機だけでなく、ついでに建物の音響装置にも金をかけてみてはどうか大きな音を出すだけがウエスタンの性能ぢやあるまい

### ××今日の銀幕街××

△長春座―林長二郎、阪東好太郎の「かごや判官」田中絹代、小林十九二の「夢うつゝ」ニュース
△新京キネマ―ジエッシイ、マシウズの「永遠の緑」、小林重四郎の「清水次郎長」杉狂兒、星玲子の「のぞかれた花嫁」
△帝都キネマ―ライル、タルボの「雲とつばさ」、チヤリー・ラツグルスの「魔の超特急」其他漫畫トーキー

### 居住消息

▲加藤徳善氏（大分縣）室町四丁目三井物産へ
▲小笠原數夫氏　錦町四丁目二十一番地ノ一へ
▲安信定氏山吹町陸軍官舎十七號へ
▲石川隆吉氏（新潟縣）同上へ
▲古池悦次郎氏（福岡縣）吉野町一丁目六番地丸山方へ
▲長澤武氏（千葉縣）白菊町一丁目五番地へ

### 轉居

▲黒木行孝氏蓬萊町から興亞街三百五號へ
▲山本一夫氏老松町から大和通六十七番地へ
▲喜多達氏大和通りから京都へ

### 出生

▲菅原徳治郎氏（錦町二丁目二番地）長男一寛さん十八日出生
▲森原榮太郎氏（老松町十二番地）長男康榮さん十日出生
▲黒木善盛氏（白菊町三丁目十番地の一）三男善明さん十八日出生
▲伊東利惣右衛門氏（中央通り四十二番地の二）長男勳さん十七日出生
▲星清綱氏（常盤町二丁目十號）長男一也さん二十二日出生
▲瀧川登氏（吉野町一丁目八番地）三男哲夫さん八日出生

木曜　庚午　赤口　開　角宿　八月二十二日（舊七月二十四日）

●一白の人　開拓の道次第に擴がり起業開店發展する日　丙と丁と戌が吉
●二黒の人　意志の堅固なるは終に難事も通達すべき日　辛と癸と丑が吉
●三碧の人　心棒を確と握らざれば取返しがたき事あり　乙と丙と丁が吉
●四綠の人　努力の功空しく憂患の增し來る日なり注意　甲と丙と丁が吉
●五黄の人　强敵と見て恐れずに自己の力を充分に振へ　庚と癸と丑が吉
●六白の人　意氣を丈夫に持ちつゝ好機を見張るべき日　丙と庚と辛が吉
●七赤の人　夕の行水に一日の汗を洗ひ流せし爽快の日　丁と壬と癸が吉
●八白の人　幸運に勇氣づけられて物事着々と進行の日　壬と癸と丑が吉
●九紫の人　活氣殺がれて何事も手の着けられぬ不快日　乙と癸と丑が吉

# 奉天造幣廠 銀塊買收政策
## 滿洲國銀貨鑄造計畫

奉天造幣廠に於いては最近中央よりの訓令により國幣信用の鞏固を圖るため大量銀塊及び銀元寶を買收しこれを以て滿洲國銀幣を鑄造する計畫を立ててゐるが最近市内に於いて錢莊業者に依賴して、銀塊元寶、現大洋等の白銀硬貨の買收につとめてゐる、因みに鑄造すべき滿洲國銀幣の種類は一元、五角二種で國外流出を防止するため舊現大洋に比し品質を下げ重量一匁内外を輕減する計畫であると言はれてゐる

## 實業部の根本的 農村救濟策

實業部に於ては農村對策の一手段として本年度より模範村を設置して農村の自治精神涵養に努めてゐるが、來年度よりは民政部の農村救濟對策と相俟つて之に要する豫算を計上、根本的農村對策に乘出す事となつた、即ち從來全國各縣に存在する農會の組織を活用せんとするもので、既に全國各實業廳に現況調査を命ずる一方中央部に於ては農會法の制定を研究中である、同法の骨子は左の如きものである

一、農會を日本に於るそれの如く技術的な團体とせず產業組合を加味した組織とする

一、從來は地主階級の機關であつたが一般大衆を包含する强力な機關とする

一、優良種子の配付、農村技術員の派遣、農事指導等の事業をも實業部と協力農村振興の事業を行はしむ

以上の如くであるが、現在の不備な農會でも年六十萬圓近くの會費が集つており合理的な改正の結果は百萬圓の會費を集めるは容易でこれら資金の合理的運用の結果は注目されてゐる

## 五大銀行 上半期決算

【東京國通】三井、三菱、第一、安田、住友の五大銀行上半期決算は二十日の住友銀行を最後として出揃つたが、三井と安田を除き何れも前期と比較して純益減少した、原因は低金利に依る利鞘減少と貸出し減少の傾向が續いて居る事證券界の不振で引受け手數料減少等で此の情勢では今後豫金利下げ必至だらうと注目されてゐる、五大銀行の上半期純益左の如し（單位千圓）

| 銀行 | 純益 | 前期と比較 |
|---|---|---|
| 三井 | 四、五九六 | 五〇增 |
| 三菱 | 五、三九八 | 一六一減 |
| 第一 | 四、二六五 | 四四七減 |
| 安田 | 四、七一二 | 四七三增 |
| 住友 | 四、七五三 | 四七一減 |

## 石綿原石を 滿洲に着目

日本に於ける石綿工業は昭和七年以來の軍需インフレによつて大いに發達し來つてゐるが軍事上經濟上重要な意味を持つ同工業が原料の殆んど全部をソ聯、加奈陀、南亞等に仰いでゐるのに鑑み最近業界では滿洲國に深い關心を持つに至つた、これが動機となつたのは對加奈陀報復高率關税の實施に對する加奈陀の輸出品課税問題で運よく賦課は免れたが年額概算五、六百萬圓に達することとて將來に不安を感じてゐるのを考慮してのことである、但し最近に於ける朝鮮、滿洲方面の原鑛については〻なりの吟味がされ同地方よりの見本提出者も逐日增加の傾向にあるが提出者が企業的な立場にゐないため殆んどその儘に葬られて來たもので、なほ採掘地が交通不便な山間にあるため資本投下に適しないことが障害となつてゐたせゐであるが、今後は原料供給地として再檢討を加へられる情勢となつたものである

# 新京材木商組合 集團伐採制採用
## 組織方法は委員會に附託

新京材木商組合は十九日記念公會堂において開催、さきの吉林東南地區協會理事會の經過報告の後集團伐採制に關し組合の採るべき態度につき熟議を凝らした結果

一、伐採希望者を集團し然るべき個所を出願すること

二、伐採集團の組織方法は委員に附託すること

に決定し、委員に高橋、岩間佐藤熊雄、西田、花村の五氏を指名した、なほこれが第一回委員會は二十日夜商工會議所において開催した

# 七月中に於る 組合銀行爲替取扱高

七月中における新京組合銀行の爲替取扱高次の通り

△金票

送金爲替
取組高二八、五四六、二三〇円（二三、一二六、五一二円）
支拂高一八、二三五、二四六円（二〇、二六四、〇七八円）

荷爲替手形
取組高四一八、五四三円（四六一、七〇九円）
取立高九七〇、六二一円（四七八、六九八円）

他店割引及利付手形並代金取立
取組高三四三、九五四円（五九〇、〇〇五円）
取立高一、六五九、五一〇円（一、四九五、一九六円）

△國幣

送金爲替
取組高一三、三〇一、四八三円（一〇、八三一、四六七円）
支拂高八、四八三、三六七円（八、五六四、七二三円）

荷爲替手形
取組高一一（一一）
取立高——（一四、〇〇四円）

他店割引その他
取組高八六、八八二円（五三五、九一三円）
取立高一五、四六九円（一〇、五二一円）

△鈔票

送金爲替
取組高二、七六八、四八五円（二、八一三、五三一円）
支拂高二、八九〇、三六〇円（二、六九二、八二九円）

荷爲替手形
取組高三五七、八七六円（四〇五、三九五円）
取立高三二一、八〇五円（三一三、二三四円）

他店割引その他
取組高八、〇五〇円（二二、六六七円）
取立高——（一、六八〇円）

# 新京滿人商號考

C.C.C

（一）

「商號考」なぞと出ると些か堅過ぎる、實は眼に這入り次第若干の解說やら感想を附け加へて書き出す滿人商店の屋號を中心にしての漫文だと考へていただきたい、近頃の流行語を使ふなら例のモデルノロヂオ—考現學といふ奴である、學問的整理や經濟學的探究は何れ後日の機會に讓つてただこの暑さと埃りの中を步き廻つて足で若しくは汗で書いた所を買つていただければ筆者は甚だ滿足である

×

筆者の寓居の近くに「積得玉」といふ店がある。「綿絲布疋雜貨批發」—つまり棉布、絹糸、絹織物、雜貨の卸屋といふ詩のついた店だ、「積みて玉を得」—これは甚だ實利的なしかも詩的な文學で巧みにも構成された屋號ではあると、筆者はこれを初めて見たとき感嘆久しうしたものである、支那語で發音したが響きも仲々によろしい、物慾と詩情との融合と言はうかせち辛い商賣戰の中にただよふ風流味と言はうか兎に角、新京滿人商號中の傑作の一つであらう

×

その近所に同じやうな商賣で「天遠達」といふ店がある運送屋などには持つて來いの名前だと思ふがそこいらの溝鋪馬車にすら「一日千里を走る」と書いた紙を貼るこの國のことだから運送屋ではかへつて利かないのかも知れない、ともあれこれも大陸式な大がかりな所が響いて決して惡い名ではない、そして效果的に店の看板には丁寧に「申阪雜貨言」の文學が出てゐる、申は上海、阪は言ふまでもなく大阪、なるほど相當に遠くはある

×

今度は違つた商賣で質屋であるが同じくこの近所に「裕和當」といふのがある、これはまたのんびりした屋號だと思ふ字に拘泥して考へると「ゆたかであつて氣持のいい質屋」とでも現代譯すべきであらうが皮肉に考へて質を入れる方の側に立つて言ふと「ゆたかで質屋と仲好くするわけ」はなくむしろ「窮和當」とでもあれば眞相を穿つたことになるだらうと思ふ

## 土建ニユース

決定工事
●滿鐵地方部

▲大連驛新築第一期工事
落札　四十一萬六千圓　高岡組
四二九、六〇〇、〇〇　清水組
四四九、六〇〇、〇〇　大倉土木
四五〇、〇〇〇、〇〇　大林組

●雙陽縣公署
▲雙陽吉林間國道木橋架設工事
第一回最低　七千百八十圓　大信洋行
七、六八〇、一　京城阿川組
八、三二〇、一　西本組
八、八〇〇、一　福昌公司
八、九七六、一　長谷川工務所
八、九九〇、一　蒲生組
九、三〇〇、一　松浦組
九、四〇〇、一　福井高梨組
九、九七〇、一　岡組
一〇、五六〇、一　清水組
一七、八八〇、一　市瀨工務所
第二回最低　七千百八十圓　大信洋行
七、五八〇、〇〇　京城阿川組
示談決定　六千圓　大信洋行
外辭退

奉天鐵路局に於ける八月一日より十七日迄の主要工事調べ

▲溝幇子巨流河濬井戶三ヶ所浚渫修繕工事
單獨　一千九百九十一圓五十錢　東生公司
▲錦縣站局宅附近道路砂利敷其他工事
單獨　一千九百十九圓五十錢　興業公司
▲奉吉線英額門站柵垣新設工事
單獨　三百六十圓　東生公司
▲皇姑屯工廠給水柱設備工事
單獨　一千百八十圓　大津組
▲清源工務段工務室新設工事
落札　八千百四十五圓　河村組
▲奉山線高山子柵柾新設工事
落札　六百十圓　釣舟工務所
▲錦州局宅附近道路口岸滓敷其他工事
單獨　三百二十七圓三十四錢　惠誠土木
▲奉山線興城獨身局宅新築工事
落札　一萬參千九百圓　日滿土木
▲皇姑屯道路後街工程司街與隆街舗裝工事
落札　四千七百五十圓　釣舟工務所
▲奉山線青堆子站外一段大垣新設工事
落札　一千五十圓　瀋陽公司
▲皇姑屯驛舍窓及入口網戶設置工事
落札　一百三十圓　吾邱公司
▲奉吉線六七Kモルタル管埋設工事
單獨　八千百八十五圓　東生公司
▲奉吉線梅河站柵垣新設工事
落札　五百六十六圓四十六錢　東生公司
▲奉山線驛柵垣新設工事
單獨　一千三十八圓　大興公司
▲山城鎭電氣分段事務所新設工事
落札　四千九百九十圓　大興公司
▲奉天造兵廠第一六五號室改修模樣替工事
落札　七千八十一圓　島田工務所
▲奉山線彰武站柵新工事
單獨　二百十八圓　傳子林
▲奉山線興城診療所內部修繕工事
落札　七百九十圓　長谷川工務所
▲奉山線興城溫泉ホテル窓及出入口網戶取付工事
單獨　一百六十六圓　同生公司
▲奉天線興城站柵垣新設工事
單獨　五百三十五圓　日滿土木
▲齊齊哈爾客車庫新築工事
落札　二十四萬七千八百圓　福昌公司
▲望塊警備隊員詰所正門改築工事
落札　一萬三千九百圓　大阪橋本組
▲奉天總站倉庫修繕工事
單獨　二百五十圓　河村組
▲磐石鑛區事務所運鑛用經便軌道車廠設工事
單獨　四千七百四十六圓十五錢　大津組
▲三城鑛外一ヶ所日人局宅窓鐵格子取設工事
落札　七百二十八圓　大興公司
▲大虎山溝幇子日人局宅網戶鐵格子取設工事
落札　四百二十一圓　東生組
▲清源日人局宅窓鐵格子取設工事
單獨　九十七圓五十錢　華興組
▲梅河口驛給水井戶地質調查工事
單獨　三百九十圓
▲盤山縣驛構內柵垣新設工事
落札　二百七十五圓　福岡組
▲錦承線葉柏壽獨身局宅增改築工事
落札　一萬三千五百三十圓　東生組
▲奉吉線閻呂一二九K附近留外一ヶ所築堤修繕工事
落札　二千百七十一圓十九錢　日滿土木
▲河北分遣隊兵舍驛付屬家を模樣替工事
單獨　一千六百九十圓　大興公司

工事豫告
●國都建設局
▲安達街興亞街間車道碎石舖裝工事
入札期日　八月廿二日十時　柿崎組

## 長春濤

北支開發を進めるのに信頼出來るだけの交渉相手がゐないといふ、それは國民黨を排除してしまつたのだから頭もゐないだらう、それなら經濟問題だから北支財閥でもあればそれで交渉したらいいぢやないかと言ふ▲所で、北支財閥なんてものがゐない、もうみないはゆる浙江財閥の出店になつてしまつてゐる、ここに浙江財閥とは今の國民政府と結んで上海で金儲けをやる連中すべてを含めた廣義のそれだが▲その浙江財閥乃至は國民政府の要人連中は何をやつてゐるかといふのに、それを示す一つの例證は例の上海標金の下落である、また一寸銀が下つたのだから標金は當然に騰るのが理窟、それが下落を示したのは國府要人が大量的に標金を賣り放つたからだといふ▲こんな手合ひを相手の交渉だから骨も折れるわけだ▲「外交の裏には響く錢の音」

# 商況欄
（八月廿一日前場）

## 海外經濟電報

| 品目 | 相場 |
|---|---|
| 倫敦銀塊 | 二九片〇〇 |
| 同先限 | 二八片一六分二五 |
| 紐育銀塊 | 六五仙八分三 |
| 孟買銀塊 | 六四留比八分三 |
| 米英爲替 | 四弗九六仙四分一 |
| 米日爲替 | 二九弗四六仙 |
| 米支爲替 | 三七弗一五仙 |
| スチール | 四三弗八分三 |
| アナゴンダ | 一九弗八分三 |
| 英日爲替 | 一志二片六四分三 |
| 英支爲替 | 一志六片四分一 |
| 英米爲替 | 四弗九六仙四分一 |
| 印日爲替 | 七八留比二分一 |

▲米棉

| 限月 | 相場 |
|---|---|
| 現物 | 一一仙七〇 |
| 九月限 | 一一仙三一 |
| 十二月限 | 一一仙一五 |
| 一月限 | 一一仙〇九 |
| 三月限 | 一一仙〇六 |
| 五月限 | 一一仙〇五 |
| 七月限 | 一一仙〇二 |

▲印棉

| 品目 | 相場 |
|---|---|
| ブローチ | 二二五留比 |
| オームラ | 一八三留比 |
| ベンゴール | 一三三留比 |

▲市俄古小麥

| 限月 | 相場 |
|---|---|
| 九月限 | 八七仙四分三 |
| 十二月限 | 八九仙八分五 |
| 一月限 | 九一仙四分一 |

▲カルカツタ麻袋

| 品目 | 相場 |
|---|---|
| 青筋 | 二六留比八分五 |
| 鐵筋 | 二四留比〇〇〇 |

## 金銀市況

●上海標金

| 項目 | 寄付 | 引 |
|---|---|---|
| 昨引 | 八七三、一〇 | 八七九、〇〇 |
| 本寄 | 八七、五〇 | 八九、五〇 |
| 步 | 七五、〇〇 | 八七、〇〇 |
| | 八四、〇〇 | 八六、五〇 |
| | 八六、五〇 | 八五、五〇 |

●大連金鈔票

| 項目 | 數値 |
|---|---|
| 寄付 | 一三三、一〇 |
| 引 | 一三三、五五 |
| | 一〇〇二 |
| 出來高 | 八月廿八日限　九月十三日限 |
| 寄付 | 一三三、〇〇 |
| 步 | 一二九五 |

出來不申

●大連鈔票銀大洋
現物　一三三、八〇　一三三、七〇
出來高　一九五

●奉天國幣金票
現物　一〇〇、六〇　一〇〇、四五
▲八月廿八日限
寄　九九七、〇〇
引　九九五、〇〇
出來高　一九五

●奉天國幣鈔票
現物　一三三、一〇　一三三、七〇
▲八月廿八日限
寄　一三三、七〇
引　一三三、七〇
出來高　一九五

●哈爾濱國幣金票
現物　一〇〇、六〇　一〇〇、五〇
▲八月廿七日限　九月十二日限
寄　一〇〇、六〇　一〇〇、六五
引　一〇〇、五五　一〇〇、五五
出來高　二六五　三九五

●安東國幣金票
現物　一〇〇、六〇
▲八月廿七日限　九月十三日限
本寄　一〇〇、五〇
引　一〇〇、五〇
出來高　三六五

## 爲替相場

▲上海爲替

▲日本向
第一回　賣　一二五、二五
　　　　買　一二五、七五
第二回　賣　一二五、〇〇
　　　　買　一二五、五〇
第三回　賣　一二六、〇〇
　　　　買　一二四、五〇
第四回　賣　一二五、〇〇
　　　　買　一二五、五〇

▲倫敦向
第一回　賣買　一志五片一六分三　八分七
第二回　賣買
第三回　賣買

▲紐育向
第一回　賣買　三六弗一〇六分三　七弗
第二回　賣買
第三回　賣買

▲大連爲替

▲上海向
一〇三、三五　一〇一、八五
一〇二、二〇　一〇一、六〇
一〇一、〇〇　一〇一、四五
一〇一、九〇

▲煙台向
一〇二、六五　一〇二、〇五
一〇二、六〇　一〇一、九〇
一〇二、四五
一〇二、二五

▲阪神日米爲替
第一回　賣買　二九弗　二九弗八分三　二分一

▲阪神日英爲替
第一回　賣買　一志二片　一志二片四分一　四分三

## 株式相場

▲大阪株式（短期）

| 銘柄 | 寄 | 引 |
|---|---|---|
| 大新 | 八八、五〇 | 八八、五〇 |
| 鐘新 | 二九、一〇 | 二九、八〇 |
| 東新 | 一四一、六〇 | 一四一、八〇 |
| 日產 | 七六、五〇 | 七七、一〇 |

▲大連株式（短期）

| 銘柄 | 寄 | 引 |
|---|---|---|
| 五品新 | 一五、八〇 | 一五、八〇 |
| 豆鈔新 | 三三、〇〇 | 三三、五〇 |
| 錢鐵新 | 一八、一〇 | ー |
| 東產新 | 一四一、〇〇 | 一四一、五〇 |
| 滿新 | ー | ー |
| 二新 | 三三、六〇 | ー |
| 日新 | 七六、五〇 | 七六、六〇 |
| 鐘 | 二九、四〇 | ー |

▲奉天株式（短期）

| 銘柄 | 寄 | 引 |
|---|---|---|
| 滿取 | 一四一、五〇 | 一四一、五〇 |
| 東新 | 八八、〇〇 | 八八、一〇 |
| 大新 | 七六、五〇 | 七六、四〇 |
| 日產 | 一五、六〇 | ー |
| 五品 | 三、〇〇 | ー |
| 豆新 | ー | ー |

## 商品市況

▲大阪棉糸

| 限月 | 寄 | 付 |
|---|---|---|
| 八月限 | 一九七、〇〇 | 一九七、三〇 |
| 九月限 | 一九七、八〇 | 一九八、九〇 |
| 十月限 | 一九七、九〇 | 一九八、〇〇 |
| 十一月限 | 一九七、五〇 | 一九七、六〇 |
| 十二月限 | 一九六、七〇 | 一九六、九〇 |
| 一月限 | 一九五、八〇 | 一九五、九〇 |
| 二月限 | 一九五、四〇 | 一九五、九〇 |

| 銘柄 | 寄 | 引 |
|---|---|---|
| 鐘新 | 二九、〇〇 | 二九、八〇 |
| 滿二新 | 六〇、一〇 | 六〇、八〇 |
| 同甲 | 一六、八〇 | 一六、九〇 |
| 電乙 | 一一、八〇 | 一一、九〇 |
| 東拓 | 二一、一〇 | 二一、一四 |
| 滿興 | 一四、八〇 | 一四、八〇 |
| 東亞先 | 一六、八〇 | 一六、七〇 |
| 優毛 | 一一、七〇 | 一一、六〇 |
| 滿日 | 五三、一〇 | 五三、五〇 |

▲大阪棉花
當限　六一、六〇　六一、五〇
先限　五八、一〇　五八、五〇

▲大阪人絹
當限　六、〇〇〇　六〇、一〇
先限　六一、八〇　六一、五〇

▲神戶豆粕

| 限月 | 寄 | 引 |
|---|---|---|
| 八月限 | 三、六五 | 三、六五 |
| 九月限 | 三、六三 | 三、六三 |
| 十月限 | 三、五八 | 三、五八 |
| 十一月限 | 三、四七 | 三、四七 |
| 十二月限 | 三、四二 | 三、四二 |
| 一月限 | ー | ー |

## 特產市況

●大連大豆
袋込　四、〇三　四、〇六
八月限　四、〇五　四、〇五
九月限　四、〇三　四、〇三
十月限　三、八五　三、八八
十一月限　三、七五　三、七五
十二月限　三、七八　三、八一

●同豆粕
現物　一、二七五　一、二八〇
九月限　一、二七五　一、二八〇
十月限　一、二八〇　一、二八〇
十一月限　一、二八〇　一、二八〇
十二月限　一、一八〇　一、一八〇
一月限　ー　ー

●同豆油
現物　一三、五五　一三、五五
九月限　一三、五五　一三、五五
十月限　ー　ー
十一月限　ー　ー
十二月限　一一、八〇　一一、八〇

●同高粱
現物　ー　ー
九月限　一三、五五　一三、五五
十月限　ー　ー
十一月限　一一、八〇　一一、八〇
十二月限　ー　ー
一月限　ー　ー

## 新京取引所市況
（八月二十一日前場）

●大豆
現物（一石値段）定期（混合百斤値段）

| 限月 | 寄 | 引 | 出來高 |
|---|---|---|---|
| 現物 | 一〇、八〇 | | 一車 |
| 八月限 | 三、九五 | 三、九三 | 一三車 |
| 九月限 | 三、八二 | 三、八二 | 一三車 |
| 十月限 | ー | ー | ー |
| 十一月限 | 三、〇九 | 三、〇九 | 四〇車 |
| 十二月限 | ー | ー | ー |

●高粱

| 限月 | 寄 | 引 | 出來高 |
|---|---|---|---|
| 現物 | 一三、五〇 | | 四車 |
| 八月限 | 三、三六 | 三、三六 | 九車 |
| 九月限 | 三、三二 | 三、三二 | 九車 |
| 十月限 | ー | ー | ー |
| 十一月限 | ー | ー | ー |

●同小麥

| 限月 | 寄 | 引 | 出來高 |
|---|---|---|---|
| 現物 | 八、〇〇 | 八、〇〇 | |
| 九月限 | 七、〇〇 | 七、五〇 | |
| 十月限 | 七、四〇〇 | 七、四〇〇 | |
| 出來高 | | | 一一〇車 |

●哈爾濱大豆

| 限月 | 寄 | 引 |
|---|---|---|
| 現物 | 八、二七 | 八、〇〇 |
| 八月限 | 四、〇〇 | 四、〇四 |
| 九月限 | 三、六八 | 三、七〇 |
| 十月限 | 三、六六 | 三、六一 |
| 十一月限 | 三、六八 | 三、六〇 |
| 十二月限 | 三、七五 | 三、七七 |

●同高粱

| 限月 | 寄 | 引 |
|---|---|---|
| 九月限 | 三、三五 | 三、三五 |
| 十月限 | ー | ー |
| 十一月限 | 三、三五 | 三、三五 |
| 十二月限 | ー | ー |
| 一月限 | 一、八〇 | 一、八〇 |

●鈔票對金票
十三日限　二十八日限
寄　一三三、〇〇　一三三、〇〇
引　一三三、〇〇　一三三、〇〇

●國幣對鈔票
十三日限　二十八日限
寄　一三三、〇〇　一三三、〇〇
引　一三三、〇〇　一三三、〇〇
出來高　七万五千　四万五千

●錢鈔
寄　八一、五〇　八一、五〇
引　八一、五〇　八一、五〇
出來高　三五万八千　三五万八千

現大洋對鈔票　八〇、四〇
國幣對鈔票　一三三、四〇
鈔票對金票　一三三、四〇
國幣對金票　一〇〇、四〇

新京日日新聞
朝刊
【本紙朝夕刊十二頁】
本紙定價 一部五錢 一ヶ月壹圓
廣告料金 普通 一行 壹圓五拾錢 特別 一行 貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯部專用 三二二五 營業部專用 三二〇〇
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 水越内之介



# 上海の英字週刊誌 又もや不敬記事

## 度重なる同一事件に鑑み 我出先官憲重大視

【上海廿一日發國通】不敬記事々件は過般の上海新生事件に續いて米國のヴアニテイーフエア紙の不敬記事々件あり多大の注目を惹いてゐる折柄上海に於て再び新なる不敬記事々件が勃發した、即ち上海にて發行されてゐる英字週刊雜誌「ウイクリーレヴイユー」誌の七月廿七日發行の誌上に「排外思想は否定された」と題して新生事件の内容を檢討し雜誌新生上の不敬文字を論じたもので我出先官憲は頗る之を重大視し嚴重なる抗議を提出するは勿論の事重大決意を以て之に善處するに決定した模樣である

激に耐へぬものがある、又本誌の如きものが再び現れるに至つては新生事件に關して取つた支那側の誓約とその誠意を疑はざるを得ない、日本側は之に對し嚴重な處置を取る事と思ふ

## 日本總領事館當局 徹底的搜査開始

【上海廿一日發國通】ヨ本總領事館當局では第三回不敬記事々件に關し、徹底的調査を開始すると同時に同雜誌の背後關係に向つて搜査の手が進められてゐる

### 週刊誌讀者層は 智識階級

【上海廿一日發國通】第三回の不敬記事々件を惹起した上海ウイクリー・レヴユウ週刊雜誌は上海に於ては内外智識階級間に廣く讀まれ、且つ支那全土に亘つて歐米智識を持つ支那人間に讀者を有し海外にも多數頒布されてゐる、從つてその影響するところ頗る大なるものがある、尚同誌は當地外國領事館に登記しあり主筆はパウエル氏である

## "最も嚴重な處置を講ぜよ"

### ―上海陸軍武官室談―

【上海廿一日發國通】上海ウイクリー・レヴユー誌の不敬記事に關し當地陸軍武官室では廿一日午前十一時五十分談話の形式で左の如く聲明した

此問題は日支間に大なる波紋を投じた過般の新生不敬記事事件が全般的に解決せざる今日再び惹起されたもので此事に就てはいやしくも文筆に携はる有識階級としては當然熟知してゐる筈である、其後米本國に於てもヴアニテイ・フエア誌の不敬事件に關しても日米兩國間に交渉があつたし又上海共同租界工部局に於ても相當の防止手段を講じて居るのを意識してゐながらかくの如き事が起つたのは甚だ諒解に苦しむと同時に憤激に耐へぬものがある

# 愈々九月一日より 提存法施行さる

## 區々の取扱手續きを統一す

提存制度の存在は夙に民法其の他の法令に於て豫定せられたるところにして辨濟の爲にする提存及保證の爲にする提存の認められてゐるに拘らずこれが手續に關する法規の存在しなかつた爲め從來法院其の他の機關に於て提存物の保管を爲して來たが其の手續區々にして取扱に關し數多遺憾の點あるのみならず利害關係人の保護に就ても缺くるところあるを免れない實狀にあつたので滿洲國政府では提存法を制定提存機關を統一し以て其の手續の適正を期することゝなつたなほ同法は九月一日から實施するものである、全文次の如し

### 提存法

第一條　法令の規定に依て提存する金錢及有價證券は提存局之を保管す

第二條　利害關係人は提存局の處分に對し其の提存局の所在地を管轄する地方法院及高等法院分院附設地方庭に異議の申立を爲すことを得

前項の異議の申立は申立書を提存局に提出して之を爲すへし

第三條　提存局は異議を理由ありと認むるときは其の處分を變更し其の旨を異議申立人に通知すへし異議を理由なしと認むるときは意見を附し異議に關する書類を管轄法院に送附すへし

第四條　法院は異議を理由なしと認むるときは之を却下し理由ありと認むるときは提存局に對し相當の處分を命すへし

前項の規定に依る裁判は理由を附したる裁決を以て之を爲し提存局及異議申立人に送達すへし

第五條　異議の申立を却下する裁決に對しては申立人は其の裁決か法令に違反したることを理由とする場合に限り抗告を爲すことを得

前項の抗告に付き爲したる裁判に對しては不服を申立つることを得す

第六條　抗告には本法に特別の規定ある場合を除くの外民事訴訟の抗告に關する規定を準用す

第七條　提存局は提存物を受取るへき者の請求に依り提存の目的たる有價證券の償還金、利息又は配當金を取り提存物に代へ又は其の從として之を保管す

保證金に代へて有價證券を提存したる場合に於ては提存者は其の利息又は配當金の拂渡を請求することを得

第八條　司法部大臣は法令の規定に依りて提存する金錢又は有價證券に非さる物品を保管すへき倉庫營業者又は銀行を指定することを得

倉庫營業者又は銀行は其の營業の部類に屬する物にして其の保管し得へき數量に限り之を保管する義務を負ふ

第九條　倉庫營業者又は銀行は前條第一項の規定に依り提存したる物を受取るへき者に對し一般に同種の物に付て請求する保管料を請求することを得

第十條　提存を爲さんとする者は提存書を提存物と共に差出すへし

第十一條　提存物を受取るへき者其の交付を請求するときは其の權利を證明することを要す

提存物を受取るへき者か反對給付を爲すへき場合に於ては債務者の書面、裁判又は公正證書其の他の公正の書面に依り其の給付を爲したること、擔保を供したること又は債務者か提存物の交付を阻止せさることを證明するに非されは提存物を受取ることを得す

第十二條　提存者は提存か錯誤に出てしこと又は提存原因か消滅したることを證明するに非されは提存物を取戻すことを得す

附則

本法は康德二年九月一日より之を施行す

## 法令制定と同時に 提存局設置

提存法の制定に伴ひ同法第一條の規定に依り金錢及有價證券の保管を掌る提存局を新設する爲次の如く提存局官制を制定した

### 提存局官制

第一條　提存局は司法部大臣の管理に屬し法令に依りて爲す提存事務を掌る

第二條　提存局は地方法院及地方法院分院附設地方庭の所在地に之を置く

第三條　提存局の管轄區域は其の所在地を管轄する地方法院及高等法院分院附設地方庭の管轄區域に同じ

第四條　地方法院の所在地に在る提存局の事務は其の地方法院の院長を監督す高等法院分院附設地方庭の所在地に在る提存局の事務は其の地方庭の所屬する分院の監督推事之を監督す

前二項の監督に付ては司法行政の監督に關する規定を準用す

第五條　提存局に書記官を置く書記官は委任とす

提存局を通して專任の書記官六人を置く

第六條　書記官二人以上を置きたる提存局に於ては中一人を以て主任書記官と爲し書記官一人を置きたる提存局に於ては其の者を以て主任書記官に充つ

主任書記官は提存局の事務を掌理し部下の職員を指揮監督す

書記官は主任書記官の指揮を承け庶務に從事す

附則

本令は康德二年九月一日より之を施行す

# 總局の賃率統制案に 滿鐵成行を重視

【大連廿一日發國通】鐵路總局の貨物運賃統制に關しては滿鐵鐵道部は未だ何等報告に接しないが總局の統制方法如何によつては全滿の貨物輸送系統に大なる變革を生じ滿鐵への影響も亦重大なるものあるため鐵道部はその成行に重大なる關心を持ち總局の報告を待つて居る、即ち現行總局の貨物運賃たる遠距離遞減制及び一キロトン、トン當り三錢五厘、同三錢の二距離比例制を總べて遠距離遞減制に統一する時は大連經由北鮮經由朝鮮經由の三輸送經路に亘つて大なる變化を生ずるは明瞭である、右に就き宇佐美總局長は語る

總局の貨物運賃が三種類に分れてゐる事は非常な煩雜支障があるのでこれが統制に關しては色々研究を重ねてゐたが近く成案を得るので統一された新運賃率を制定、二、三ケ月後には實施される運びとならう、勿論鐵道部との關係も考慮し大なる變革の起らない樣にするつもりだ

## 紡聯及輸出組合の妥協成らず　蘭印綿布輸出統制

【大阪國通】對蘭印綿布輸出統制問題を繞り表面化した紡績聯合會と輸出組合の對立抗爭に就て兩團体は十九日商工省の勸告により善後協議を開始したが根本問題の討議に入つて双方讓らず、對立持續が明瞭となつた、本問題は日本綿布の重要市場を網羅してゐるだけに影響重大で商工當局の態度は注目されてゐる

## 駐滿大使館附 兩書記官發令

【東京國通】駐滿大使館兩書記官に對する外務省辭令は廿一日附左の如く發令された

任大使館二等書記官(四)　事務官 矢野征記
任大使館三等書記官(五)　事務官 廣瀨節男

尚ほ近く閣議を經、卅一日附を以て左の如く發表される筈
二級俸を賜ふ　矢野征記　廣瀨節男

## 孟買銀塊市場も 混亂に陷る

【ボムベイ廿日發國通】ボムベイ銀塊市場は廿日有力仕手筋の破產に伴ひ停頓狀態に陷つた、市場に於ては右に關聯して重大損失を被る者が少くなかつた、證券市場も右に伴ひ急落した

# 伊の横暴英側憤激

## 規約第十六條適用か

### 廿日外相イーデン氏と協議

【ロンドン廿日發國通】ホーア外相は廿日午前十一時外務省に出頭、外相室でイーデン無任所相と會見、外務省關係首腦者を交へパリ會商決裂までの經過を聽取、閣議に提出する外務省當局の方針につき協議を遂げたが、イーデン氏よりの報告によりイタリー政府がブルー、ナイル河並にツアナ湖の流水使用に關する英國政府の權益を無視する意向愈々明確となつたのでホーア外相としても閣議に於て斷乎たる方策を提示するに決議したと解される、右は從來の生温い懷柔政策に見切りをつけ聯盟規約第十六條の制裁規定を援用せねばならぬとの結論に到達したものと言はれて居る

# 日滿郵便條約調印

## ＝九月中旬正式行はれん＝

日滿郵便ブロツクの強化を圖る日滿郵便條約の締結に關し目下日本政府では法制局に於て審議中で今月中には御諮詢奏請の豫定であり滿洲國に於ても條約實施に備へるべく滿日郵便爲替規則及取扱規定並に外國郵便規則及取扱規定の起草中で今月末には作成を終り日滿兩當局に於て大體準備を完了するので九月中旬外交部に於て南大使と張外交部大臣との間に條約調印が行はれることになつた

## 板垣副長 今日東上

板垣參謀副長は二十二日午前四時新京飛行場發東上當面の諸問題について中央部との打合せをなし卅一日午後五時同飛行場着にて歸任する豫定であるが近く渡滿の松岡滿鐵總裁との會見も行はれるものと見られ、同少將の東上は時節柄注目されてゐる

命滿洲國在勤

而して矢野書記官は廿二日午後三時東京發富士で赴任の途に就く筈である

# 内外政の常道復歸は 六中全會まで持越

【南京二十一日發國通】汪精衛氏の入京に依り同氏の辭意表明以來低迷してゐた支那政界の暗雲は此處に一掃され内外政務も調整の端緒に就くものとされてゐるが然し汪氏の眞意は對日關係の積極的轉換、行政院の權限擴大、政府組織法の改正等の重大問題をも包含して居るので一切はこれ等諸問題が全面的に解決される六中全會五全大會まで持越されるわけである

## 一月ぶりの 汪氏南京入り

【南京廿一日發國通】汪精衛氏は上海市長呉鐵城氏等を同伴廿一日午前七時滬寧線で上海から下關停車場に到着した

六月末持病昻進を理由に南京を去つて以來一ヶ月半久し振りの入京に驛頭には財政部長孔祥熙氏以下數十名の要人が出迎へ凱旋將軍を迎へる樣な賑はひを呈した、尚汪精衛氏は廿一日午前中に愈々蔣介石氏と會見する段取である

# 國鐵路警の 權限、職權規程

## 本日より施行

國有鐵道路警の警察事務執行について從來その權限および職權が區々にして不便な點が多かつたので滿洲國政府では二十二日勅令を以て國有鐵道職員の警察事務執行に關する規程を制定、即日實施しこれが權限および職權を限らかにすると共にその管轄區域を局限することゝなつた、全文次の如し

### 國有鐵道職員の警察事務執行に關する件

第一條　國有鐵道の警務段長、副段長及巡監は刑事訴訟法第二百二十八條の司法警察官の職務を、警務段勤務の巡長及巡警は刑事訴訟法第二百二十九條の司法警察の職務を行ふ

第二條　國有鐵道の警務段長、副段長、巡監、巡長及巡警か前條の規定に依り司法警察官及司法警察の職務を行ふは國有鐵道の列車(船舶及自動車を含む)内、鐵道線路、機關庫、倉庫、工場埠頭構内及驛構内とす

第三條　第一條に規定する國有鐵道の職員は前條に規定する地域内に於て保安及衛生に關し警察官吏の事務を執行す

附則

本法は公布の日より之を施行す

### 公務の爲危篤に陷りたる者の陞等及增給に關する勅令

文官の陞等及增給に就ては官等俸給令に於て在職期間の制限を規定して居る處であるが現在では公務の爲一身を犧牲とする殉職者を出すの例も尠なからず此等の場合に於ける陞等及增給に當つては俸給令に規定する制限に對する一部例外を認めんがため滿洲國政府では廿二日勅令を制定して即日施行した勅令左の如し

文官公務に因る傷痍疾病の爲危篤に陷り又は現職に堪へさるに至りたるときは高等官官等俸給令第四條及第十條並に委任官官等俸給令第三條及第五條の規定に拘らず陞等及增給を行ふことを得

# 川越次長 來滿日程

## 來月七日新京到着

對滿事務局次長川越丈雄氏は行政課長山越道藏、總裁秘書鈴木武、屬官宇澤次郎氏その他を同伴來る二十九日大連入港の熱河丸で全滿視察のため渡滿する、一行の日程左の通り

二十九日入港、三十日大連滯在、三十一日旅順、一日大連附近視察、二日營行ゆき、特に傳勝台の移民情況視察、三日鞍山、四日、五日奉天、六日撫順、七日奉天發新京へ、八日、九日、十日、十一日新京滯在、十二日ハルビンへ、十三日ハルビンで天理敎移民地視察十四日チチハルへ、十五日飛行機で來京、十六日滯在十七日圖們へ、十八日から北鮮三港視察の上十九日京城へ

# 擬裝的態度を 先づ改めよ

## 百の會議も意味なし

### ―我が軍中央部の意向―

【東京國通】廬山會議の結果決定された對日親善政策を齎らし蔣駐日大使は近く歸任、日本側外交當局に對し日支經濟合作の具體的措置に關し積極的に働きかけると傳へられてゐるが右に關し軍部では次の如く觀測してゐる

廬山會議が日支關係調節に關し如何なる方策を決定したか鑑定する限りではないが軍としては曩に非公式に闡明した意見によつても明かなるが如く今更事新らしく會議を開き日支關係を論議するやうな事では支那側の眞意が那邊にあるかを疑はざるを得ない、既に屢次の聲明によつて我方が眞の日支提携を希 望する事であり日支双方の利益の爲に支那側の擬裝的二重態度の淸算を要求してゐることが明白なる以上支那側としての執るべき態度も亦瞭然たるものである、即ち支那にして東洋和平の大局より日支親善を希望するならば速かに擬裝二重の態度を淸算し眞の日支親善提携の實を擧ぐるやう積極的に誠意を示すべきである、その根本に於て二重態度を改めるところなく當面を糊塗するに於ては百の會議を開き千の親日聲明を發するも何等事態の改善に役立たぬであらう、蔣大使が歸任如何なる態度に出るかを注目するものである

興安南省警備司令官　陸軍中將 巴特拉布坦
補興安省第二警備司令官　興安北警備司令官 陸軍少將 烏爾金
補興安省第一警備司令官

## 土肥原少將 昨日承德發

【承德國通】土肥原奉天特務機關長は十九日當地着以來各方面を視察中であつたが二十一日午前十時三十分軍民多數の見送りを受け飛行機にて歸任の途に就いた

## 周山少將赴任

第〇團長より第三師團司令部附に榮轉の周山滿藏少將は廿一日正午發ハトにて諸將星多數の見送りを受け大連經由赴任の途に就いた

## 藤田貴院 議員來京

貴族院議員藤田謙一氏は東滿洲人絹パルプ會社情況視察の途同社富田總務課長を帶同廿一日來京した

## 興安警備軍 司令部改稱

興安省警備司令部は從來南北にわけられてゐたが今回之を第一、第二と改稱することとなり左の如く發令された

## 國語

滿洲國成立後、滿人の上流家庭で、その子弟を日本人小學校に入學させたい希望が相當多いやうである▼それは日滿不可分關係からいつて誠に慶すべく、また當然の歸結ともいふべきだが、實際問題に立ち至つて見ると相當考へるべきものがあらう▼第一日本語も全然判らない者が入學を志して見ても、入學する方でもさす方でもなか〳〵骨が折れるに違ひない、誰も彼もといふ譯にはゆくまい▼そこで地方事務所の方針としては日本語を理解すること、年齡に差のないこと、健康なること引續き將來も日本の教育を受けることなどを條件として管理者側でテストを行ひ、その上で學校側で許否を決することになつてゐると聞くが、これは當然さうあるべきだ▼なほこれを精神教育からいつて日滿不可分とはいへ、それ〴〵國体を異にする二つを同じに扱ふことは多分の無理があり▼敢て日本人小學校を目指すまでもなく滿人は滿人としての公學校があるのだからこの方に入れることが無理もなく從つて教育上の効果も期待出來るのではないかと思ふ▼近くは附屬地行政權返還などの問題もなり、日滿人とも充分研究を要する重大問題の一つであらう

## 人事往來

▲内田麥郎氏(二高教授)廿一日午後來京國都ホテル投宿
▲脇本博司氏(パラマウント社員)同午前來京同
▲山本藤雄氏(商通副社長)同

## 航空往來

▲成澤直亮氏(滿洲國官吏)廿一日午前八時半大黑河へ
▲加藤職氏(會社員)同ハルビンへ
▲福井經三氏(ホテル支配人)同ハルビンへ
▲福井陽三氏(學生)同ハルビンへ
▲岡本虎男氏(會社員)廿一日午前四時發平壤へ
▲永吉由藏氏(請負業)同午前十一時廿五分發奉天へ
▲木内近信氏(銀行員)廿一日午後三時から大黑河より
▲三好房雄氏(會社員)同

## 社説

### 現代の輿論 社會意識の本質とその表現

一

社會意識といふ言葉の意義は幾らか曖昧に考へられてゐる。個人に於ける意識、つまり感覺、感情、意志、理性その他の觀念一般これが人間の社會的生活に關して形作られたものと解するのが普通であらう。心又は意識の範圍に含まれる諸作用は、感覺から理想に至るまで一定の生活條件に關して起生し、發展するものであり、それは社會生活の場合に於いても同樣である。そして、社會が行動の体系である以上、社會意識は一定の社會的行意過程の意識であり、それは必ず具体的な集團的行動を目標とするものである。社會に於ける具体的な行動を離れて、それから超越した社會意識といふものは有り得ない。かくて、複雜した社會に於いては當然に社會意識は複雜化し對立化する。

二

社會意識はその表現の形態として「輿論」をつくりあげる。輿論は最も意識的な表現形式であり、社會意識を社會意識として叫ぶものである。これが機關としての、すなはち社會意識の表現の道具としての形をもつたのが「新聞」である、新聞はかくてその記事報道に於いて、當然に特定の認識的態度をもち、その認識を通じて一定の社會意識を表現せしめる。輿論は社會意識をその社會生活の意慾として發露せしめるもので明かに確信と要求とを現はし、對立的利害を判然と對立的態度で現はす。新聞は單なる意慾、單なる想像でなく、社會的事實の認識に於いて、社會意識の表現形態を構成する。なほこれに關聯して藝術は、社會意識を一應想像能力で濾過してそれによつてその意慾的性質を潛匿せしめて、客觀的の創造世界を表現するものであることが考へられる。

三

上來述べたところによつて輿論とは、本來規範的性質を持つたものではない、それはその內容が社會的に緊要であることによつて輿論となるのではなく、輿論の把持者が社會統制の上に於いて對立的地位をもつことによつてこそ輿論たり得るのである。原始的社會に於いて輿論は存しなかつた。それは集團が全くの統一狀態にあつてその中に對立關係が存しなかつたからである。すでにして一つの社會が支配と被支配との關係をつくれば、そこには社會意識の分裂が生じ、從つてその表現を見るに至る。今日に於ける社會意識の分裂はとりも直さず社會そのものの內部に於ける利害の對立の反映に外ならぬそれは社會意識の表現形態たる新聞に於いても明らかに示されてゐるところである。かかる根本的理解より出發してわれらは、今日の新聞の問題に向はねばならぬ

## 「ハルハは斷じて」「外蒙に非ず」

### 連綿三世紀に亘るこの史實 (二)

かくて儼然たる境界線確定し華やかなりし清朝の庇護下にホロンバイル蒙古は悠々一百年十八世紀の阿片戰爭直後(一八四二)迄時の清朝の平和に馴れて草原の夢は安らかにボイルの波も穩やかにひたよせてゐたのである然し侵略の野望滿々として熾んに巴爾虎を脅し來つた外蒙ハルハ族の觸手は決して眠つてはゐなかつた、吾々は今にして知る白を黑く言ひくるめ無茶苦茶な橫車を押して尙恬然たる現在の外モンゴリニズムは曾て百年の昔に於ても狂ほしいハルハ族の腦中に鬱血してゐた歐々ッ子振りに一脈相通ずる處があるらしい

ハルハは尙自領なりと固執して止まない現外蒙古の飽くなき貪慾と執拗さに相似た二、三の物語りがこゝにもある、道光二十四年と云へば十八世紀の中期だが當時ハルハの主權代理シャクドル、ジャブと云ふ沒義漢が再び呼倫貝爾政廳に對し拔打的な難癖を持込んで來た血の道あげた彼の言分はかうであつた「巴爾虎のアルボラックの監視哨は哈爾哈領內ホルスター地方迄動いてゐるらしい」兎も角事は邊境の出來事でもあり我がホロンバイル政廳は彼の抗議に接し直ちに副都督イシがわざわざ現地に出張し愼重に事を調査したが結局ハルハ族の錯覺的過誤なる事が判明したのである

□

雉も鳴かずば打たれまいにジヤクドルジーの抗議はどゞのつまりが逆にホロンバイル政廳から「アルボラック監視哨移動云々はその事實無し全く過誤に有之」の詫狀文一札を取られ蛇蛇に終つたのである右ハルハ族の抗議は全然事實無根と云ふ確證を上申した書類は我が蒙古衙門に現存してゐるとは全く痛快に過ぎるではないか

その昔放牧の資として皇帝の下賜と共に世に出たハルハは氷點下四十度の酷寒にも不凍の烏爾順の水に圍まれウランガンガの草原に抱かれた天與の大牧場であるがハルハ族がこれに眼をつけて咽喉から手を出したのは兎山ばかりの外蒙古に比べると無理もない話である道義も糞もない隙があれば突込んで見やうといふ魂膽だからたまらない

□

右の詫狀文事件について更にこれに輪をかけた虛構的抗議が再び行はれ來つたがこの交渉はホロンバイル領として正式容認の未調印迄行はれたといふ光輝あるハルハ領屬史の金字塔として落着してゐる即ちハルハ代表トクトートルーが當時の巴爾虎總監スブクジヤブに對しホンゴルモリーの丘上のオボが破損しウムヘイボラックの監視哨が移動したのと略々前回同樣の難癖的抗議を發して來たのである、斯くして呼倫貝爾副都督トションは關係各總監を召集、相手方のハルハ盟長ゴンチョクシブヤをも加へて所謂監視哨移動に伴ふ國境紛爭解決に思ひ切つた斷案のメスを加ふべく各首領株を引連れて問題の現地を詳さに視察したのである單なる樹枝數本を束ねて大草原の眞中に打たれてた監視哨の目印やオボ等一筋ひねくればどうにでもごまかせようが原野に生れ原野に育つた總監や盟長の眼は斷じて欺むけないハルハ族の常套的手段は遂に觀破され、結局總監哨の移動等事實皆無と裁斷されたがこれには當のハルハ盟長が加はつて協議してゐるから、否か應もない、抗議を持出したハルハ王トクトホトルーも流石に事實に立脚した裁斷の前には遂に敵しがたく再びこゝにカブトをぬいで遂に虛構捏造の責任者處罰を決行し監視哨の移動云々は全く過誤であつた事、歪曲的抗議の責任者として左記三名共同で調印契約書を認めしめ今後の處辨に誤りなきを期する事

ウルトニマクトガルハム、ジヤサツク、ミンドルドルジー

と調印文書に於て披瀝したのである

即ちハルハ族の再三の失態は却つてホロンバイル領たる事を正式に容認すると云ふ却つて反對の結果に到來してゐるのである

「もの云へば唇寒し秋の風」とかハルハ族の詭辯も前後數回正義の主張の前には醜惡なる肚の底を天下に公表したに過ぎないと云ふ甚だ哀れな結果に陷つてゐる

然しながらかくしてハルハ民は機に應じ時に臨んで絕えず吾巴爾虎侵入を企てゝゐたが偶々道光帝の咸豐八年(一八五八)に至つて吉林將軍ギンルンに不正贈賄して歪曲的强制處置に基きハルハ民を陷れるべく實に卑劣極まる策動に出でた

□

かくて狡猾ハルハ民は貪慾ギンルン將軍に袖の下を使ひその臨諺に應じて益々その侵略に拍車をかけ爲にハルハ族と巴爾虎民間の抗爭は愈々還しふされ未曾有の暗雲時代を招來するに至つてゐる

實に連綿現代に至つて尙止まぬハルハ侵犯のプロローグは哈爾哈民の暴手に依り切落されたのである、この既往の史實に遡つて內蒙民族の痛憤淵源を知る時今次の滿蒙和平會商本來の任命とその重大意義は云はずして首肯されるではないか、續いて暗雲時代に入つた巴爾虎民が正義の苦闘を物語らう(未完)

## 本年の赤痢病患者 百六十名發生

### 五才以下が最大多數です

新京警察署管內に於ける本年一月一日から八月十五日までの赤痢患者の累計數は百六十名でこれを年齡別に示せば▲五歲以下三三▲十歲以下二〇▲十五才以下五▲二十才以下二二▲十五才以下三六▲三十才以下二一▲三十五才以下八▲四十才以下五▲四十五才以下五▲五十才以下三▲六十五才以下二次にこれを職業別に見ると▲滿鐵社員及家族三六▲滿洲國官吏及家族一八▲鐵路局員及家族一四▲土木建築及家族九▲無職及家族八▲商店員及家族七▲會社員及家族六▲電業公司員及家族四▲警察官吏及家族四▲郵便局員及家族三▲軍人及家族三▲銀行員及家族三▲木炭雜貨商及家族三▲電氣機業及家族三▲新聞記者及家族三▲職工三▲軍屬及家族二▲滿洲國軍人及家族二▲寫眞業二▲敎員及家族二▲タイピスト二▲醫師婦女二▲裁縫業及家族二▲消費組合員及家族一▲官吏家族一▲電々會社員及家族一▲吳服商家族一▲材木商及家族一▲樂手一▲洗濯業家族一▲料理人家族一▲看板屋家族一▲運送業家族一▲旅業家族一▲看護婦一▲附添婦一▲周旋業家族一▲家事使用人一▲學生一▲生徒一▲運轉手一▲官衙傭人一之を發生地域別に示すと、▲鐵道北一〇▲東五條通以東▲四頭道溝川以東二四▲中部五一▲中央通以西四六▲白菊町方面二〇▲不定三▲ハルビン一▲旅行中一

なほ右患者の中豫防錠を使用したもので罹病したもの十九名豫防錠を使用せぬもの百四十一名である

## 國體明徵聲明

菅崎三文

國がらを明らけくすとふのりぶみは 神のみ前にちかふべくありけり

大君のおほみことのりつゝしみて 承りまつる道たがふべからず

みことのりつゝしみかこみいたゞくと ふみ民の道よおごそかなるかな

このみちをなみする學者打たずして 言ふのりぶみは空ぶみにして

しれものをうちしりぞけてのちにこそ 民にはかくと示すべくありけり

ハチカ ◀中傷はとらず▶ 住所氏名明記の事

## 滿洲國辭令

三江省公署屬官 松田俊彥
敍委任二等給八級俸
三江省公署民政廳勤務を命ず
康德二年五月一日
奉天省公署屬官 菊池末吉
敍委任二等給八級俸
奉天省公署民政廳勤務を命ず
康德二年六月十日
龍江省公署屬官 濱田武夫
敍委任二等給七級俸
龍江省公署總務廳勤務を命ず
康德二年六月二十二日
龍江省公署屬官 淺坂正一
敍委任二等給八級俸
龍江省公署總務廳勤務を命ず
康德二年六月二十二日
龍江省公署屬官 入谷靖彥
敍委任二等給六級俸
龍江省公署教育廳勤務を命ず
康德二年七月一日
專賣署技士 曲壽峰
轉任專賣工廠技士敍委任一等
兼專賣署屬官 井ノ上吉助
兼任專賣工廠屬官敍委任一等
專賣署屬官 岡幸三郎
兼任專賣工廠屬官敍委任二等
專賣署技士 一宅久米一
兼任專賣工廠技士敍委任二等
康德二年八月一日
專賣署屬官 井ノ上吉助
給五級俸
奉天專賣署勤務を命ず
專賣署屬官 岡幸三郎
給月俸九十五圓
奉天專賣署勤務を命ず
專賣署技士 一宅久米一
給六級俸
奉天專賣署勤務を命ず
專賣工廠技士 曲壽峰
給三級俸
康德二年八月一日
陸軍少將 嚴智明
退役を命ず
康德二年八月七日
大陸科學院研究官 有馬純三
敍薦任一等
給一級俸
大陸科學院研究官 川上行藏
(各通)
同 丸山捨吉
敍薦任四等
給六級俸
大陸科學院研究官 本岡玉樹
敍薦任五等
給九級俸
文教部督學官 一條林治
敍薦任三等
給五級俸
文教部學務司勤務を命ず
康德二年八月十五日
專賣公署屬官 鹽田佳節
敍委任二等
給四級俸
專賣公署屬官 鶴田卿
(各通)
專賣公署技士 富谷米輔
敍委任三等
給六級俸
康德元年十二月一日
外交部屬官 栗城勝男
(各通)
外交部總務司轉勤を命ず
康德二年八月一日
文教部屬官 一谷清昭
敍委任三等
給月俸九十五圓
文教部學務司勤務を命ず
康德二年八月一日
稅務監督署屬官 大津留正一
休職を命ず
康德元年十二月二十日
稅關監吏 足立文夫
休職を命ず
康德二年八月一日
稅關鑑査官佐 岡村義憲
依願免官
康德二年六月三十日
專賣署屬官 矢部健次郎
依願免官
康德二年八月十三日

## 時事展望

### 貿易から見た世界各國の景氣 躍進著しい日本

今日のやうに世界各國の景氣がそれぞれ違つた傾向を示してゐるときに、世界の景氣が全体としてどういふ方向に向つてゐるかを一言に言ひ現はすことは出來ない、ひどく大雜把に分けても、爲替低落國では一体に景氣恢復の傾向があるし金本位國乃至爲替高の國では依然として恐慌が深刻化してゐるのである、がそれにしても主要國の外國貿易に現はれた傾向によつてそれらの國の景氣がどういふ傾向にあり、どういふ段階にあるかを知ることは必ずしも不可能ではない、ただ注意を要するのは近來貿易への障害がますます高められてゐるために一つの國の外國貿易の傾向が必ずしもその國の經濟活動の動きを反映するものでないことである

×

主要國、英、米、日について見やう、先づ英國から見ると本年上半期の輸入は昨年より一寸減り、輸出は昨年より約千七百萬磅ほど增加してゐる、これは爲替低落國としての强味の現はれだ、米國を見ると、輸入は引續いて殖えたが輸出の增勢は一寸挫折したやうであるこれは昨年の米國農業が稀有の凶作であつて農産物の供給が急に減り、農産物價は暴騰した、このため農產品の輸出が激減し、結局輸出總額をも減少せしめたものである、實際に米國の輸出のうち、機械類その他工業品は引續いて增勢を示してゐるのである、やはりこの場合も低爲替國としての輸出力が働いてゐると解すべきだ

×

日本は何といつても貿易增加力は目覺ましいものがあることの上半期の輸出は十一億七千三百萬圓で昨年より一億六千七百萬圓、一六%八の增加であるから斷然頭角を拔いてゐる、これは一九二九年の水準を完全に拔いてゐるし英國のそれが二九年の五六%、米國は三九%といふのに比較して見るとき一層顯著である(Y生)



## 商況欄 (八月廿一日後場)

### 金銀市況

●上海標金

| | |
|---|---|
| 前引 | 八八四、四〇 |
| 後寄 | — |
| 步 | — |

●大連金鈔票

| | |
|---|---|
| 現物寄付 | 一三三、五〇 |

### 爲替相場

| | 寄付 | 步 | 引 |
|---|---|---|---|
| △八月二十八日限 | 一三三、四〇 | 一三三、三五 | 一三三、四〇 |
| 出來高 | 出來 | 不申 | — |

| | | |
|---|---|---|
| ●大連鈔票銀大洋 現物 | 一三三、四〇 | 一三三、七〇 |
| ●奉天國幣對金票 現物 | 一〇〇、四〇 | 一〇〇、四五 |

### 上海爲替

| | | 賣 | 買 |
|---|---|---|---|
| ▲日本向 | 第一回 | 一二三、二五 | 一二五、七五〇 |
| | 第二回 | — | — |
| | 第三回 | — | — |
| ▲倫敦向 | 第一回 | 一志五片一六分三 | 八分七 |
| | 第二回 | — | — |
| | 第三回 | — | — |
| ▲紐育向 | 第一回 | 三七弗一〇〇 | 一六分一〇 |
| | 第二回 | — | — |
| | 第三回 | — | — |

### 大連爲替

| | | |
|---|---|---|
| ▲上海向 | 一〇二、八〇 | 一〇二、八五 |
| ▲臺灣向 | 一〇一、七〇 | 一〇一、七五 |
| | 一〇二、一〇〇 | 一〇一、〇〇 |

### 株式相場

▲大連株式(短期)

| | 寄 | 引 |
|---|---|---|
| 五品新 | 一三、八〇 | — |
| 豆新 | 三一、六〇 | — |
| 鈔新 | 一八、二〇 | — |
| 錢新 | 一二一、六〇 | 一二二、六〇 |
| 東新 | 二九、五〇 | — |
| 鐵新 | 六〇、五〇 | — |
| 滿新 | 三五、九〇 | — |
| 二産 | 七六、四〇 | 七七、五〇 |
| 日 | — | — |

▲奉天株式(短期)

| | 寄 | 引 |
|---|---|---|
| 滿取 | 一二一、四〇 | 一二三、五〇 |
| 東新 | 一二八、八〇 | 一三〇、三〇 |
| 鐵新 | 七六、四〇 | 七七、四〇 |
| 日産 | 八八、〇〇 | 八八、七〇 |
| 大新 | 一五、七〇 | — |
| 五品 | 三三、〇〇 | — |
| 豆新 | 一六、八〇 | 一六、九〇 |
| 電甲 | 三三、九〇 | 一五、一〇 |
| 同乙 | 六〇、九〇 | 六〇、九〇 |
| 滿鐵 | 一、一五 | 一、一五 |
| 東拓 | 一四、八〇 | 一四、八〇 |
| 東亞 | 五五、五〇 | 五五、六〇 |
| 日窨 | 二四、八〇 | 二四、八〇 |
| 滿興 | 一三、六〇 | 一三、七〇 |
| 二毛 | 二六、一〇 | 二六、一〇 |
| 優先 | 一七、〇〇 | 一六、八〇 |

●哈爾濱大豆

| | | |
|---|---|---|
| 九月限 | 八、三七五 | — |
| 十月限 | 七、七七五 | — |
| 十一月限 | 七、五〇〇 | — |

●同小麥

| | | |
|---|---|---|
| 九月限 | — | — |
| 十月限 | 一、三二七五 | — |
| 十一月限 | 一、三三七五 | — |

### 各地市況

●橫濱生糸

| | 後場 | 引 |
|---|---|---|
| 當限 | 七五五、〇〇 | 七七一、〇〇 |
| 先限 | 七二一、〇〇 | 七〇五、〇〇 |

●大阪期米

| | | |
|---|---|---|
| 當限 | 三三、三五 | 三三、三五 |
| 中限 | 三二、九八 | 三三、一四 |
| 先限 | 三二、四三 | 三二、四一 |

●神戶豆粕

| | | |
|---|---|---|
| 八月限 | 一、六五 | 一、六五 |
| 九月限 | 一、六五 | 一、六五 |
| 十月限 | 一、五七 | 一、五七 |
| 十一月限 | 一、四五 | 一、四五 |
| 十二月限 | 一、四〇 | 一、四〇 |

手形交換(二十一日)

| | | |
|---|---|---|
| 金票 | 四六枚 | 一三〇、五一四九八 |
| 鈔票 | 一枚 | 二三〇、〇〇 |
| 國幣 | 六六枚 | 六一、一四七四五 |

北滿

# 農民一揆の暴徒 共産黨員を虐殺

## 沿海州の一部落 果然赤へ挑戰！

【ハルビン國通】廿日當地某所着情報によると去る七月十三日沿海州マラトツスキー集團農場に於て農民一揆勃發、七百餘名の農民は手に手に棍棒等の武器を携へ同農場内にある共産黨委員宿舍を襲撃し數十名を殺害すると共に農具格納庫二十棟を燒却した急報により官憲は直ちに首謀者二十七名を逮捕し、目下ハバロフスク監獄に隔離嚴重取調べ中であるが、原因は同農民に對し最近共産黨委員の苛酷なる彈壓と囚人の如き酷使に不滿鬱積しをれるに加へ白色パルチザンの煽動ありたる爲と觀測される

尙右暴動勃發に就てソ聯官憲は國外に洩れる事を嚴重に取締つてゐたが最近入滿せる一滿人により明みに曝されるに至つたものである

## 新任澁谷中將 盛大なる歡迎裡に齊市着

【チチハル國通】當地駐屯新任澁谷本部隊長は十九日着任の豫定のところ二日遲れ廿一日午前七時廿分禮砲殷々と轟き亘る中をチチハル驛に到着、蒲猶本部隊長、內田領事、金省長、張司令官以下日滿官民多數の出迎へを受け舊本部隊長と固き握手を交したる後日滿各要人への挨拶を終つて乘馬にてチチハル驛より龍江飯店に至る沿道に堵列せる管下各部隊、滿洲國軍並に在鄕軍人を閱兵、愛國婦人會、在齊日滿小中女學生、一般市民の打振る日滿國旗に迎へられ午前八時十分司令部に入つた

## 清水總務司長 チチハル着

【チチハル國通】清水民政部總務司長は二十日午前十一時二十分着飛行機でハルビンより來齊したが二十一日ハイラルに向つた

## 全市民一致して 空襲に備へよ

### 諸機關の準備着々進捗す

## 防空演習迫る

【ハルビン支局發】來る九月十八日の第一回哈爾濱市防空演習については施履本市長を委員長とする防空協會によつて着々と諸準備が進捗しているが、此の機を利用して空襲の如何に戰慄すべきものであるか、防空とは如何なるものであるかを全市民に徹底せしめて演習實施の萬全を期さんとしてゐる。而して今回の演習は哈爾濱としては最初の企てゞあるところからして各機關をあげて全面的協調をなすことになつてゐるが、濱江省公署、各國領事館、在哈十一新聞社滿洲航空會社支店、協和會支部、朝鮮人民會、白系露人事務局は側面的に後援する。防空委員會は施履本市長が演習統監となり岩越駐屯地司令官、郭第四軍管區司令官を顧問に、幹事委員には官廳各機關、民間代表機關の多數有識者が任命されてゐる。十八日までの準備工作として九月五日以降警務機關に依り宣傳ビラを各戶に配布し、新聞及び「ラヂオ」に依り數日間は防空一般常識及び管制警報により市民の防空思想の涵養につとめる。

當日の演習細部計畫は燈火管制、消防、防毒、救護の四項にわかち各責任者によつて統制されるが一般市民に關係深き燈火管制の方法に付細說すれば左の如し

（一）燈火管制 本演習においては自由管制を實施する

（二）警戒管制 一、九月十八日午後零時から午後十時迄を警戒管制とする

（三）空襲管制 一、晝間三回、夜間二回の空襲管制を行ふ、每回五十分間

二、防護警報 （イ）瓦斯警報は第二次演習において局部的に行ふ （ロ）火災警報は消防自動車進行中、備付けのサイレンを以て之を行ふ

（四）空襲警報の種別及び方法 1、工場、機關車、船舶の汽笛、サイレン、鐘、鐵砲、ラヂオ、敎會の鐘、警報の方法を用ふるが、警報は一分間に三回吹鳴、電燈は点滅三回、解除の場合は汽笛、サイレンは一分間連續吹鳴、電燈は二回の点滅による。

（五）燈火管制要領 市民に關係深き屋內燈については、家庭用の電燈は遮蔽又は燭光力の低い電球に取り換える。自動車については注意として前照燈後尾燈は赤色、黑色二枚の布又は紙を以て庶蔽し車內燈は消燈する必要がある。洋車馬車は赤色の布又は紙を以て遮蔽しなければならぬ。屋外燈で特に注意すべきは漁船、艀、遊覽ボートの燈火で上空庶蔽又は消燈する必要がある。

以上が燈火管制に對する市民の注意すべき點で、防空は各個人の協力によらねば萬全を期し難いから、全市民が一致して防空演習を成功せしめねばならぬ。消防、防毒、救護の各演習各機關で責任をもつて施行されるから市民はつとめて演習の見學をなすべきであらう。その際は指揮者の統制に服し喧噪に陥らぬやうに又理由なく恐怖して演習の妨害をしないやう注意すべきであらう

南滿

# 慰問金を割いて 東邊道水災民へ

## 新京〇〇隊奥田一等兵の義擧

【奉天國通】二十日奉天省公署宛に一通の書留郵便が送達されて來たので係員が開封して見ると差出人は在新京〇〇隊奥田恒司としてあり五圓の小爲替が封入されてあり文面には

目下新聞に盛に報道されてゐる東邊道の農民の饑饉を默視するに忍びず僅かですが、之は鄕里の愛國婦人會より送られ來つた尊い慰問金です、救濟金の一部に御加入下されば幸甚です

との意味が認められてあつたので署員はこの一等兵の純情に感激、直ちにその手續きをとつた

## 採掘屆出既に九百件に達す

### 奉天鑛業監督處扱ひのもの

【奉天國通】埋れる寶石、天然鑛物の開發に就いて六月末現在の奉天鑛業監督處（奉天安東、錦州を含む）への採掘屆出數は石炭の二百六件を筆頭に銅、金の順序で合計八百六十七件に達してゐるその內譯は

石炭二〇六、銅五〇、鉛四八、鐵三一、金四七、銀二九、マンガン一七、亞鉛四アルミニウム三、水鉛一、蒼鉛一、アンチモニー一、錫一、ニッケル一、硫鑛一石綿三六、雲母三九重晶石七、硫黃五、沸石一六、硫化鑛二六、大理石一〇、長石五、滑石四一、黑鉛一一、磁土一、マグネサイト一三、漂白土六、硅石三、土瀝靑一、硅藻磐二、靑石八、石灰石四七、砂石一八、花崗岩七、白雲石七、土灰二、粘土三八、建築石五二、泥灰石三、火粘土四等四二項であるが此中八月一日發布された鑛業法に依る指定鑛物に屬するものは卅件で殘りの十二件、大理石、磁土漂白土、硅藻磐、靑石、砂石、花崗岩、白雲石、土灰、粘土、建築石、泥灰石等に就ては砂石採掘法に依つて律せられる筈である

## 奉天省農村の 水災復興策

【奉天國通】奉天省公署に於ては今次の水災により慘害を蒙れる管下農村の復興策について新京中央部と折衝し具體案の作成を急いでゐるが右復興具體案の主眼とする所は警備道路、交通、通信網の擴充橋梁、堤防の修築等の土木事業を起し農村の自力更生を助成する一面窮民の救濟をなさんとするもので大體に於て本年中に具體案の作成を終り明年度より實行に着手せんとするものである

## 從業員慰安列車

### 九月圖們訪問

【圖們國通】鐵路總局が今春四月より開始した沿線鐵道從業員の慰安列車運轉は九月四日頃圖們を訪問する筈であるが、同列車は當地に於て驛員始め關係從業員及家族等の慰問に二、三日を費した後圖佳線に移る豫定となつてゐる、尙右に對し鐵路愛護村では特に少年隊を繰出し、慰安列車の各驛到着前に驛附近の警備群衆の整理、警戒の手傳ひ一般の接待、慰安作業終了後の淸掃等の勤勞サーヴイスに任ずることになつてゐる

## 尾高司令官 初の巡視

【敦化支局發】新任尾高〇〇司令官は初巡視のため十七日午後五時裝甲列車にて着敦、驛頭に守備隊、鄕軍、消防組其他日鮮滿官民多數の出迎を受け直ちに守備隊に至りて巡視をなし、富士屋に一泊十八日午前十時官民の見送を受け裝甲列車で離敦した

## 北山忠靈塔の寄附者芳名

【敦化支局發】曩に敦化居留民會、敦化鄕軍分會、敦化朝鮮人民會、敦化商務會の四團體聯合發起の下に工費一萬圓の豫算で一大忠靈塔を北山上に建設のため一般から醵金寄附募集中のところ申込者右記の通り

▲二〇〇圓敦化製材合資會社▲一〇〇圓四森左衞門▲三圓西光盛▲三圓吉村廣志▲三圓鈴木亮一▲五圓山代傳吉▲五圓岩崎茂十▲三圓奥元健一▲三圓椋木重利▲一圓五十錢北村武夫▲一〇圓宍戸保▲二〇圓片岸喜八▲二圓肥後時意▲二圓永井正二郎▲一五〇圓德滿淸▲三圓米盛光雄▲二〇圓若松妓女一同▲二〇〇圓野村ナツノ、同龜好、安增セン▲一〇〇圓渡邊彦勝▲二〇圓巴女中一同▲三〇圓家野ステ▲一五圓宮崎稲男圓家野算藏▲五圓▲二圓田中金三▲二圓小林一司▲二圓土山浪子▲一〇圓樓妓女一同▲二圓內田嘉質▲九圓花月好女一同▲五圓宮脇由江▲三圓飯島慶助▲二五圓羽新太郎▲一圓鷹島ヨネ▲五圓玉川妓女一同▲二〇圓高山泰▲五〇圓國婦敦化支部計 九四九圓五十錢也

# 興安嶺一帶の 景勝地を探る

## （十一） 島本本社支局員

### 昂々溪 （自哈爾濱二七〇粁）

昂々溪、この地名を聞いて日本人である、誰もが多少の感慨を抱かないものがあらうか北滿奥地の鎭台、兒玉中將閣下が北滿の鎭めとして遠く露營を控えて駐屯してゐるところである、われ等は歷史の頁をめくればそこには幾多の北進日本の現實の脈搏を聞きとることが出來るのだ

先づ昂々溪の地理的重要性に付いて語らう、齊々哈爾を距る二五、四粁の地點に位し陸路は北方齊々哈爾を經て嫩江方面即ち黑河街道の要衝に當る、南方は洮南、扶餘、四方は海拉爾、東方は哈爾濱に通じ夏季は嫩江に依る便がある此處は又平齊、齊克兩線の起點であり濱洲線との連絡地として

### 北滿 における交通上の一要衝地點である、平齊線は松岡現滿鐵總裁が滿東北政權より奪取（？）した、因緣付きのものである昂々溪は平齊線の開通と共に面目一新し市況頗に活況を呈し軍事上、經濟上の重要ポイントとして將來の發展を約束されてゐる、滿洲國人の大部分は市街の南側に一部は露人市街に居住し滿洲建國以來王道政治の治下に惠まれてゐる一時馬占山がこの地に屯してゐた時はその暴政に泣き生活難に喘いだが日本軍入城とともに餓死線上より救助せられ民衆の不安は一掃された商業としては主として特產取引である、背後地の雜穀取引の中心地で主要產物は穀類、肉類野菜、精酒、ウオッカ

### 曹達 を數へることが出來る

主要工業は製粉工場、バター工場製革工場があり殊に製粉は將來益々發展を豫想されてゐる

日本人の銘記すべき歷史上の戰蹟地が昂々溪附近には多い日露戰爭に橫川省三、沖禎介等六烈士が朔北幾多の蒙古平原を橫斷し敵地に潛入、富爾拉基鐵橋を破壞せんとしたが空しく土爾池哈驛より數粁の地點で敵騎に捕はれ、橫川、沖の兩氏は哈爾濱に護送されて刑場の露と消え、他の四烈士たちは一時敵手を逃れたが何れも蒙古人の爲に非業の最後を遂げた忍び出の鐵橋である歷史は移る、今やこの鐵橋は日本軍獨立守備隊の手によつて晝夜警戒され三十年前を今にかえして輝かしい

### 躍進 日本の姿を目のあたりに見る、日本人として誰が感慨なきものがあらうか

昂々溪より北方楡樹屯に至る高地一號は、すぐる昭和六年多門師團の馬占山討伐の際に馬軍が陣地を敷いたが、我軍の追擊急であつたので之を利用し得ず莫古氣附近の高地、訥爾蘇附近の陣地で我軍に挑戰した、現に處々に陣地の名殘を止めてゐる、昂々溪附近の戰鬪では我軍も相當苦戰したと傳えられてゐるが、その當時の戰蹟には徒らに夏草が生ひ繁り旅ゆく者の感傷をそそる

### 富拉爾基（フラルキ） （自哈爾濱二八四米）

昂々溪から鐵橋を越すとそこは濱洲線でも著名な結核療養所がある、この地は曾て北鐵によつて開拓された療養地で現に車窓からバンガロー式の療養所を指呼のうちに望む事が出來る、夏季は水浴地として避暑地としても設備を施し聞えてゐる、又結核療養に特效あるクミスの製造地としても名高い

### 碾子山（テンシザン） （自哈爾濱三五四米）

碾子山あたりからなだらかな線を引いた小丘陵地域になる大興安嶺の裳裾にあたる地域で今まで平凡單調な平原地帶を旅した者には、車窓風景の變化がうれしい、碾子山驛の西北方の丘陵に、七月廿八日に除幕式をあげた板倉機遭難八士の記念碑が巍然として聳えてゐる、ここにも事變の彿を拾ふ

## 初秋

# 洮大線舍力附近に ペスト患者續生

## 死亡者廿餘名を出す大慘狀

【チチハル國通】廿日早朝大賚縣隔離病所より警務廳衞生科への入電に依れば洮大線舍力驛南方五滿里の部落に七月以來ペスト容疑患者發生、現在までに容疑死亡者廿數名を出し、現在患者三、四十名に達せる大慘狀を見つつあるが同地附近は交通不便なるため發見されず最近日滿軍の討伐の際發見されたもので警務廳衞生科では重大視し二十日午後十一時千葉技正を該地に出張せしめ防疫に努めることとなつた

同地附近新線が近く開通するので一般旅行者に傳染のおそれがあるに鑑み當局に於ては大狼狽し白城子隔離所より係員急行防疫に努めてゐる、尙安廣縣に於ても七月十日頃よりペスト容疑死亡者十數名を數へ十三名の現患者を見てゐる

## 國勢調査に關し 奉天總領事館打合會

【奉天國通】奉天日本總領事館では來る十月一日午前〇時を期し實施される國勢調査に對する附屬地外居住日本人の調査に關し管下各分館、警察署長及び安東、赤峰、承德、錦州、營口等の南滿各地の領事を召集、廿日の午後三時よ

# 涼風の立つころ
## 子供の健康に注意！
### 特に大切な食物上衞生

## 晩夏の衞生

夏も眞盛りを過ぎて愈々今迄の食物や運動上の不攝生の結果が現はれて來る頃となつた食物運動に十分注意して頂きたい

**第一に** 注意して頂きたいのは質の問題である、大人が食べても何等差支へないといふ程度の食物即ち勿論腐敗してはゐないが一寸古くなつた程度の食物でも子供に與へると直ちに中毒を起すことがある、日本では濕氣の多い關係から非常に腐敗し易く新しい心算のものが古へなつてゐる場合がある、また食品そのものでも例へば刺身とか燒魚などは特異な臭氣で判斷出來る、所がフライ、天婦羅或ひは酢のものになるとわかりにしい、古いものを氣付かず食ふことが子供の場合に殊に多いこれは魚肉、獸肉或は野菜に於ても然し肉、卵の場合には特に怖ろしい、それで此の點を充分吟味することは必要欠くべからざることである

**第二は** 消化吸收の率夏季は暑さのために胃腸の機能が弱つてゐるからかういふ時に際しては成丈消化の良い食物を選ばねばならぬ、消化も個人的に異るが、子供では大人の胃腸の弱いものと同じく食品自体が吸收率の惡いものつまり腹にたまるものを控へるべきである、第三は量の問題である、食物は四季を通じて大体同じ程度必要であつて、夏は少くても良いといふ譯ではない、原則としては十分とられねばならぬが十分にとり得る様な味と食慾を準備することが大切である特に子供にあつては食物によつて食べる量にムラがあり不規則になり勝であるから

**監督者** 附添、親は此の點に注意して食物を配合すべきである、又間食は水分の多い腹にたまらぬ物を與へるべきである、最後に氣候の關係から淡白なものを好み、動物性のものより植物性のものを選り好みするので充分な營養が得られず、身体が弱つたり体重が減つたりするからかうした偏食を避けるために動物性のものを適當に調理して量的にも十分攝り得るやうに心掛けねばならない

◇……とんぼつり……◇

## 男女作法の栞
### 男子を訪問する時の婦人の心得は！

男女の交際はたとひどんなに親しい間柄であらうとも禮儀正しく、眞面目に、そしてお互に尊敬ある態度を取つて頂きたいものです自分は

**（潔白）** であるからなど言つても人に見誤られるやうな行爲はお互の恥辱であります、御婦人が男の方を訪問遊ばす場合、御招待されたとか、また突發的な已むを得ぬ場合の他は夜分の訪問はなるべく避けるべきです殊に未婚の婦人が夕食後監督者なしで男子を訪ねるなど以ての外です男女交際の割合に自由な米國ですら、未婚の婦人が一人で男子の多勢ゐる寄宿舍などには晝間でさへ訪問しないと言はれてゐます、最近

**（男子）** の寄宿舍とか、または下宿などを平氣で訪問する女學生があると聞きますが、たとひお友達と連れ立つた場合であらうとも愼しむべきことですもしも至急な用件があつたなら座敷へ通らずに玄關先で濟まして歸るやうにします挨拶が濟んだら、早く用談に移つてくだらぬことを長話しないことです、又晝間訪問をする時でも、男は忙しい仕事をもつてをりますから都合を聞いてから伺ふやうにします、萬一不意に訪問するやうな場合でしたら晝食後の幾分くつろいでゐる十二時から一時半ぐらゐまでの間がよろしいと思ひます



## 今日の献立

●（朝）● 味噌汁 サヤ隱元の筋を取り適宜に切つて入れます

●（晝）● ▲牛蒡蒟蒻のいため煮＝牛蒡は亂切に蒟蒻は鹽もみし、あられにして、どちらもさつと茹で上げて油で炒りつけ、醤油、砂糖味の素で味をつけます

●（晩）● 茹で豚肉＝豚は大きいまゝで水をかぶるくらい加へて弱火で箸が通るまで茹でます、冷めてから薄切りにして辛子醤油で頂きますさつぱりして美味しいものでございます

## 興味深い人を觀る法(一)
### 森田英道氏談

人を採用する場合や、使用人や部下の性能を知りたい場合又は外交商賣に應用したい時には、先づ相手の額を見て下さい。

×……×

第一圖眉の中央Aから髮の生へ際Bへ垂直に想像線を引いて額の中央をイ、ロ、ハの如く三等分して、額の肉の隆起が三等分した内で、どの部分が一番よく隆起してゐるかを見て下さい。

才一図

イ、ロ、ハの三部分の内で、眉骨一帶のイの部分が目立つて隆起してゐる人の顔を横から見ますと、第二圖の様な型に見へます。即ち側面から見ると、眉骨が突出して、額全体が後退してゐます「矢の指す所は眉骨の突起を示す」

×……×

第一圖、第二圖のイ部の發達した人は、觀察力、實務的、才能、實行力、氣慨、押しの力、熱情と意氣に富み、仕事をテキパキと處理する手腕が優れてゐます。グヅグヅ考へるより當つてくだける！　思考より實行だ！　思考は大概にして直感的に自信を得れば直に企畫の實行に着手して、機にのぞみ變に應じて當意即妙の才を振つて事を處理して成績を擧げて行く人は此の型です。

才二図

×……×

第一圖、第三圖のロ部の肉が隆起した人は、論理的比判的評論的才能に富み、愼重考慮の思考的才能が豐富で、思索的研究と推考に長じ、充分に案が練れて、縱横の關係を考慮して後、絶對に安心で確實だと云ふ自信を得ぬと容易に活動を開始しない、智者ではあるが、實行力と決斷力と進取の氣象の乏しい人で、情勢の變化に遭遇した際に機敏に變化に應ずる畫策をとる事の出來ない人であります、實際家、實務家には適しないが、企畫、研究、策戰方面には最適で、謀將、懐ろ刀として、或は策士として裏面に畫策する人であります。

才三図

ロ部の發達した人の横顔は第三圖の様に見へるものです、額中央「ロ部」の肉が盛り上つた様に見へます。

×……×

第一圖、第二圖のハ部の肉が隆起した人はハ部の發達した人の横顔は第四圖「ハ部」が突出した様に肉がコンモリと盛り上つてゐます。

直覺的に、天才的に物事を記憶し、認識、識別する才能と直覺的に人の心の表裏を洞察する天分を有し、事物の一端を見て事の眞相を摑む事に妙を得てゐますので、社交、應待、外交、接客業等に進むと人の心をそらさぬ如才ない天分に惠まれて、非常な人氣と繁榮を招きます、人使の上手な、重役、商店主、支配人、主任、課長や、人物を見拔く才能に秀でた、人事課員等は皆な此の部分が發達してゐます、小學校を出て十數年滿鐵に勤務して、事檢にパスし、親思で、評判のよい新京鐵道出張所の黒田マサ子さん等は明瞭に此の「ハ」の部分の肉が美しく盛り上つてゐます。

才四図

ハ部の發達した人は頓智と機智に富み諷刺的でユモアーを解し、調和と平和と、圓滿と妥協を愛しますから、家庭にも環境にも一種の明朗な空氣を發散させて、何處へ行つても人に好感を以つて迎へられます。

## ラヂオ　けふの番組
廿二日（木曜）（新京放送局）

午前之部

- 六、〇〇 建國體操（滿語）
- 六、一五 ラヂオ體操（大連）引續き入港船の御知らせ（大連）
- 六、三〇 中等滿語講座（大連）講師 秩父固太郎
- 七、〇〇 中等日語講座（奉天）講師 近藤喜助
- 七、二〇 全滿天氣豫報（大連）
- 七、三〇 朝の音樂（大連）
- 八、三〇 經濟市況（東京）
- 九、四〇 經濟市況（大連）
- 一〇、〇〇 料理獻立
- 一〇、二〇 經濟市況（大連）
- 一〇、四〇 經濟市況（東京）
- 一〇、五九 時報（東京）
- 一一、〇一 經濟市況（東京、大連）
- 一一、四〇 ニュース（東京）



午後の部

- 〇、〇一 經濟市況
- 〇、二〇 ニュース（大連、引續新京）（滿語）
- 〇、三〇 建國體操（滿語）
- 〇、五〇 ニュース
- 二、〇〇 經濟市況（大連）引續き日用品値段（滿語）
- 二、二〇 成人講座（滿語）
- 二、四〇 演藝（レコード）（滿語）
- 二、五〇 經濟市況（東京）
- 三、〇〇 ニュース（東京）
- 三、三〇 經濟市況（大連）
- 三、五〇 ニュース（鮮語）
- 四、三〇 ニュース（鮮語）
- 四、四〇 演藝（鮮語）
- 四、五〇 ニュース（英語）
- 五、〇〇 子供の時間 連續ラヂオ童話劇 家なき兒（三）（レミー幸福の巻）原作 エクトル・マロー　脚色 東晩山　出演 新京童話劇團 白鳥座　音樂效果 糸井光彌　解說指揮 東晩山
- 五、二五 氣象通報、番組豫告
- 六、〇〇 ニュース（東京）
- 六、二〇 政府公報（滿語）
- 六、三〇 趣味講演 能面の表情に就て 金剛巖（東京）
- 七、〇〇 河東節 秋の霜 浄瑠璃 山彦米子 浄瑠璃 山彦すゞ子 三味線 山彦八重子 上調子 山彦喜代子（東京）
- 七、二〇 漫談 講談のタネ 悟道軒圓玉（東京）
- 七、四〇 連續ラヂオドラマ（二）己が罪 原作 菊池幽芳 脚色 田嶋淳 「所」房州のある海邊（東京）
- 八、三〇 時報ニュース（東京）引續き ニュース
- 八、四五 北滿の時間（露語）（哈爾濱）
- 九、一五 ニュース、經濟市況 氣象通報、番組豫告（滿語）
- 九、三〇 舊劇 別家（哭堂）新京公餘雅集票友
- 一〇、〇〇 舊劇 回令 新京公餘雅集票友

### 連續ラヂオドラマ　己が罪　第二回
【後七・四〇】「房州の海邊」

漁師の妻お作　河合武雄
玉太郎　花柳喜章
お作の夫岩藏　松本要次郎
女中お濱（日出夫改メ）　瀨戸英一
環の子正弘　坂東慶三
塚口虎三　柳永二郎
環の父傳藏　大矢市次郎
櫻戸隆弘　藤村秀夫
環　喜多村緑郎

## 連續ラヂオドラマ　童話劇
# 家なき兒（第三回）
### ―「レミー幸福の巻」―
## （午後五時）新京童話劇團

けふの子供の時間は新京童話劇團「白鳥座」の方々による連續ラヂオドラマ「家なき兒」の第三回、最後の放送で、第一回は前々週の木曜日に、第二回は先週の木曜日に同じメムバーによつて放送されました、原作は有名なエクトル・マローになるもので、これを東晩山氏が放送用脚本に直したもので、映畫でもつい先頃公開され大變好評を博したものです。

今夜の放送は「レミー幸福の巻」で、ヴイタリス老人に死別したレミー少年が仲良しになつたマッチア少年と共にロンドンに密航し、ドリスコルといふスリの親分の下に母をたづねて訪れる所から始まります。

狡猾なドリスコル親分はレミーがミリガン夫人の本當の子供であることを知り乍らレミー少年にはこれを教へず、自分らの子供と一緒に、商賣に出します商賣といふのは踊りをして人を寄せつけ、その間に人の金をすり取ることなのですドリスコルはミリガン夫人の兄さんを脅迫して金を取らうとしますが商賣に出たドリスコルの子供達はかねぐ睨まれてゐた警官に追はれ、何も知らないレミー少年は捕まへられて了ひます、然しマッチア少年の機敏な活躍によつてレミー少年はミリガン夫人に救はれ、その上ミリガン夫人こそ自分の本當の母親である事を知り、探し求めたお母さんとの對面に嬉し涙を流して喜んだのであります、かうしてドリスコル親分も警察につかまへられレミー少年にも、アーサー少年にもマッチア少年にも、幸福な日が訪れ、レミー少年はバルブランお母さんへの御恩返しに立派な牛を贈りものとして差上げたのであります。



―配役―

| 役 | 出演 |
|---|---|
| ヴイタリス老人 | 江原喜久三 |
| レミー少年 | 津田光枝 |
| ミリガン夫人 | 宮城靜子 |
| アーサー少年 | 秋田喜美子 |
| ガロフオリ | 多々羅春夫 |
| （宿屋の主人） | |
| マッチア少年 | 城山あい子 |
| ドリスコル | 仲井秀 |
| バルブラン小田さん | 仲芳子 |
| 警部さん | 福岡一平 |
| 音樂效果 | 糸井光彌 |
| 解說指揮 | 東晩山 |

寫眞說明　「家なき兒」の音樂效果糸井光彌氏と映畫「家なき兒」の一場面

## "秋の霜"
### 午後七時東京より中繼

◇河東節◇

浄瑠璃　山彦米子
　　　　山彦すゞ子
三味線　山彦八重子
上調子　山彦喜代子

シテ平家"花は合掌にひらけて春を待たず、常樂無勝の都の空合ツレ"由緣の袖か粲の雲井の月の影澄みてワキ"絲竹の音もところからツレ"律の調やつくすらん　合"見渡せば見渡す瑠璃の池水にシテ上ブシ"へ見る目涼しきツレ"四方山の、昔語りをいつの間に胡蝶の夢のはかなさを說き置く法の文にまで、うつせし事は空目かや、圓浮に廻る月と日はワキ"實にも隙行く駒形のシテ"片心にもちぎりにしツレ"大悲擁護の宮戸川、罪は淺茅の原ながら、なほ消え安き秋の霜しもとに結ぶ雪ならで、柳の糸の葛城や合"高窓山にあらなくに、朝戸あくれば誰々も、目に筑波嶺の朝霞、靡くもそれと隨緣の、姿ばかりが實相の、名は常夏に朽ちせねど、おとづれ絶えし、二上りシテ"仲秋、雁のたよりも徒らに、ワキ"露は時雨れて行く雲の、ツメ"綾瀨は折りもいとよしと、ツレ"隅田川原の渡りにて合"いざ言問はんありやなし、ナホスワ"答へていはゞ不二なりと、ワレ"されば其のまゝに、菩提涅槃の彼岸へ誓ひの友船に棹とり乘れば汲みし流の末廣く、松吹風も山彦の、十寸見の鏡いく代栄えん

# 學藝

## 創作　永久の獨白

佐和山一郎

一年間も淸くつき合つてゐた女と、わけもなしに別れてはや三年と云ふ歳月が流れその三年間は男を極端な女嫌ひにさせ、女を一旦他人の女房にさせてしまつた。

柳のわたの飛び散る春、葉つぱの蒼さが眼に滲み渡る夏その葉が黄色くなつて道端にうず高くつもる秋、裸木につらゝの花の咲き揃ふ冬—交際が一年續いた爲に毎年想ひ出の間斷されるいとまが全くない。それで男と女が一年の想ひ出を嚙みしめた結果に於て幸福なものであつたかと云へば、事實は決してそうではなかつた。三年間と云ふもの男にはその女以上に値打ちのある女を街に見出す事が出來ないが無意味な人世を送るし、女はつれ合の身持の惡さにあいそをつかして今では母親の許に歸り、一年の思ひ出を形の上でゞも繼續させるつもりでか、又昔の職業を始めたのであつた。

その間男は意味もなく女の働いてゐる店に時々顔を出しては、女と一言も話をせず只默つて酒を飮み、ほろ〳〵と醉つて三年が過ぎてしまつた男はこんなにまですり切れたパッはもう一度戀愛としてみたくてもそれはもう出來ない相談だと考へ、女は既に汚れ果てた身体では昔の男の顔がまともに見られず、時々盗み見る樣にして男の顔を見、視線と視線とが鉢合つてびつくりした樣に自分の足許を見つめるのが關の山であつた。

淡々として夜か來、又夜が來て、ビクトローラから絞り出される夜毎の音樂が男と女の耳には喧噪な雜音と變り、カフエー式の此の大喫茶店に集まる顔ぶれは日毎に變つて行くのであつたが、世にも不思議なこの男と女の獨白的對立はいつかな盡きそうにもなくやつと忘れたと思ふと男がひよつくりやつて來て、又そこには男と女の頭の中に昔の一年間の柳の木の變り樣がごく靜かに旋回し始める。お互ひに心では過ぎ去つた事はゆるし合つてゐるはずだのに、今迄の沈默の對立がいつまでもいつまでも延長を續けた。今更戀愛をしたつて到底若の新鮮味は味はへなくても、それによつてお互ひが今の精神的に苦しい環境から救はれればこれに越した事はないと男は考へるのであつた。その氣持は神聖で、そこには貞操だとか、お古だとか云ふ觀念は少しも介在しなかつた。

この氣持を三年間持ち續けて來たが、いよ〳〵淸算しなければならない時が來て、彼はボックスの一隅でこの手紙を書き綴つた。

芳子さん、君の氣持さへ變つてゐないのなら、僕は僕達が三年前に夢見てゐた理想をこゝに實現させてもいゝと考へてゐる。君の十七の時のあの少女的潑溂さをもう一度取り戻してみたいと考へてゐる—君は近頃絶へず輕いせきをしてゐる樣だが病氣なのかね僕は近く國境の方に轉勤すべく運動してゐる。都落ちを……ハッハッヘ都落ちとは我ながら微苦笑ものですね……する前に三年間お互に守り續けて來た意義ある沈默——獨白的狀態をこゝに敢て破る。お互に中間の何物をも忘れ果て更生の道に生くるか、或は之が君に對する僕の最後的のものとなるか、どちらかを選定して貰ひたい。君と始めて遇つたのも秋だつたし、最後に口をきいたのも秋だつた。そして三年間の獨白を破つた今日も既に秋、秋はどうも淋しくていかんね」と書き終つた頃、せつかく飮んだビール三本の醉は綺麗に醒め果てたのである。男は今書いたばかりの手紙をピリピリと破り、小さく固めると勢ひよく床の上に投げつけて別の紙切れに「貴女はせきをしてゐる樣ですが御病氣なのですか、僕は近く國境の方に轉任します」と唯之だけ書いて勘定をしに來た少女に、女に渡してくれる樣に頼んで表に出たのであつた。

ペーブメントには既に秋風が吹き始めて、生長しきつた街路樹の柳の葉が、この世に青さを止める僅かな息ぶきを惜しんでゐる樣であつた。この男が人世に青さを止めるのもあと幾日と數へる程しかない。あとは黄色霜枯れて、國境の街に屍を曝すと、その上に又秋風が忍びやかに到來する事であろう（八月十八日）

## 地圖

近東綺十郎

地圖は　笛のような呼吸を　そよがせて　木のように仆れかかつた<br>
掌の中に　水虫が　大腦の表皮を<br>
削り乍ら　笑ひ出した<br>
肥えた乳房は　豐かな感情である<br>
やさしさと　喜びが　水煙を立ててゐる<br>
疲勞は霧のように重い、情思は流れて、遠い唄だ<br>
いつか夕空になる氣流を感じて、<br>
靜かに眼をつぶつてゐる

## 別離

松元衛門

哲の勤務先の會社で人事移動があつた、哲と時々、灰色の感情で睨みあつてゐた、川島はその會社の中でも、一番いそがしいと思はれる修繕の方に、やられてしまつた、川島が、この月から、哲と一緒に働けなくなると云ふ事は、哲にとつては、一しほ身に迫る淋しさが感んじられるのだつた

「二三ヶ月してから、小川さんが、病院から歸つて來たら、僕は又此處へ戻つて來るよ……」

哲は、さつぱりした川島の氣象が、何處か超越したものを思はせるのだつた、だが自分に向けられてゐる恨みと唯仕事が出來ると云ふので、他の者達が、尊敬してゐる點とを、ごつちやにしてゐて、平氣でゐられるこだはらない物の見方を持つた川島の性格が哲には、羨やましかつたのであらう

「明日から、修繕に行かれるんだつたら、貴方とは一緒に働けないね！よし今晩、別離の宴をはらう！」

仕事は、何時濟むとも計り知れない、そして惡く行けば一晩中かゝらなければならぬかも知れない哲達の徹夜勤務で、「さあ—今晩別れの宴をやるぞ」と云ふ氣持ちは、少くとも、哲以上の年配の人達の氣持ちを、ある種の血潮を湧き立たせ仕事に勇氣づけるのであつた

哲の會社には、ふだんは個人主義者の大立物許りが寄り集つてゐる樣なものであつたが、哲の出る番の人達は一風變にた哲のロマンチックな感傷に何處か刺激されてゐるのであつた

彼は何者よりも、自己を瞞鹿者に見做さうと努める事に腐心してゐるのだつた、少くとも哲自身第三者の眼で視た時さうとしか思はれなかつたのだ

その反動が「人と一風變つてゐるぜ」この批判だつた

批判を、感激の血で今更らしく分析して見ようなどゝはさら〳〵思はぬでもなかつたが、心の移り易い彼の性質には、迦も面倒臭くて自分で自分を放り出してゐるらしいのだつた—

彼は獨り定めに偶々自分に斯う云ひ聞かせるのだつた、—僕は世間並の事など考へてゐられる性格の所持者ぢやないのだぞ！から考へて見ると何處もかしてもすきだらけでどうにも手に付けられない間拔けた氣質をなめさせられてしまふのだけれ共、ひし〳〵と眞實の自分を知らさせてくれるさみしい幼兒みたいなものに、自然と頭は垂れて行くのだつた

何十人かの哲の會社の先輩や後輩に、彼は自分をさらけ出す事など、何んとも思ふ必要もなくなつて了つた程、彼は完全に變人扱ひにされてしまつてゐるのであつた

—自分をさらけ出す事は或る場合譲しまねばならない、道德はこの事許りを守り貫く樣にと敎へてゐるのだ—哲はから思ふ傍ら思ふ儘の我意を徹した

先きに云つた川島と哲の灰色の感情の睨みあひと云ふのは、川島には哲の知つた振り顔を見る事が、癇癪にふれるのであつたらしかつたが、哲のさみしさに堪へてゐるかの樣な眸を見ると、結果は、川島の心を次第に澄ませて了ふのであつた、それとも「此んな奴にかゝりあつて此方が、變り者扱ひにされちや、かなはない」と思つてがのどちらかであつたらう

夕飯がすんでそれでも何時もより一時間程も遲かつたが哲は、莨の煙でも吐き出す樣な氣持ちで、斯う云ひ放つた

—獨身者はビール二本、その他の者は一本買ふ事にしよう！！川島さんと一時別れの宴だ

他の者は煙草を吹かしながら、微笑んでゐて、どうで良い樣にやつてくれと云はんばかりであつた

川島は、先きから、眼を細くして机にを就きながら、自分をもつとも、光輝あるものゝ如き存在でゞもあるかの樣に、部屋の或る一點を見つめてゐた

そして哲は、川島のプロフイルに見入りながら、何故此の人の存在が、自分の心の隅に、食ひ込んでゐるのであらうかと、窓外の廣場を見やりながら、追いつめて考へてゐた

## ラヂオドラマ　研究會員募集

ラヂオ、ドラマを通じて文藝運動の一分野に活動を開始することになつた新京ラヂオ、ドラマ研究會では涼秋來と共に同人一同緊張して一歩前進の準備中であるが、之と共に演技部の擴充を期することゝなり、一般に開放して入會に應ずることになつた、

入部資格は熱心な劇愛好者たることが第一、身許確實、思想中正、可成夜間差支へなき紳士、淑女で、入會は大体右の條件に於て、演出部同人の承認を經たるものを許可する方針で、申込みは本學藝欄氣附新京ラヂオ、ドラマ研究會で宜しい、尚、同會では今後毎月一回放送を期して、一週二回位の練習を行ふ筈

## ラヂオ、ドラマ　研究會だより

本社學藝部主催新京ラヂオ、ドラマ研究會では目下會員希望者を募つてゐるが、來る廿五日（日曜）午後一時より第一回の選衡を行ふこととなつた、希望者並に入會申込者は當日本社學藝部まで御出で下さい（近東）

## 書架

本欄新刊紹介希望の向きは本社編輯局宛一部御送附相成たし（係）

▲滿洲評論（八月十七日號）時評、橘樸氏の「日支關係の國際的考察」はわが資本家と南京政府そしてわが軍部との見解の接近を說明するものなは貴志「滿洲國治廢の段階」河村「灤洲事件の波及、擴大性」其他（大連市山縣通十八、滿洲評論社、十錢）▲正金週報（八月九日號）一九三四年度驪領印度國際收支を載す、巡禮費などという特殊な支出あることに注意される（東京市京橋區本石町一ノ六、橫濱正金銀行調査課）▲岡山縣（八月十五日號）「和氣淸麿公と岡山縣」その他縣の出來事縣人消息を載せてゐる（岡山市南方町二七、岡山縣社、二十五錢）▲民政部要覽　アート二十八頁の美本、多數の寫眞を入れ同部の各方面に亙つて簡略に說明しなほ地圖、その他の附錄を附けてある（滿洲國民政部總務司資料科發行）

# 建國思想の普及と國民文化向上へ
## 僻地にも響く滿洲ラヂオ國策
## 二重放送實現近し

電波を通じて國民思想の統一強化を計る企圖は最近各國においで行はれドイツ等では宣傳省を設けて主としてラヂオによるナチス文化の建設に邁進し又イタリ、フランス、ソ聯邦等諸國に於ても夫々ラヂオ國策を樹立して國民思想の統一實現を期しつゝある現狀である、滿洲國においても國策會社たる電々會社によつて現に新京、ヘルビン、奉天の放送局を設置してラヂオによる國策遂行を計つてゐるが、建國僅か三年にして未だ幼稚の域を脱せず聽取者も全滿を通じて僅か一萬五千に過ぎない狀態にあり而も日鮮滿露等數國人に放送する關係上日鮮滿露等各國語放送に分けてゐるため放送時間が極めて制限されてゐる實狀にあるが關東軍並に滿洲國政府ではこの現狀を打破するため近く放送局をして懸案の二重放送を實施せしむることゝなつた二重放送の實施は對滿人放送に劃期的な建國思想の普及發達と國民文化の向上が期待され、殊に通信機關の不備な僻遠の地の農民に對する文化的意義は極めて大きいものとされてゐる、而して經濟的能力に缺けたこれ等滿人に對して高價な聽取機を購買せしむるは事實上不可能であり又毎月一圓の聽取料は生活程度の低い彼等に大きな負擔となる譯であるから恐らく二圓程度の鑛石受信機を普及し聽取料問題も政府當局者間で考究中であるから何等かの負擔輕減方法が國策として實現されるものとみられてゐる

# 京濱線
## 卅日夜の着發列車
## 一時間半繰上げ
### 夜行は九時半に出發

京濱線では三十日午後十一時新京發ハルビンゆき列車、及びハルビン發新京着の兩列車は三十一日早曉行はれるゲージ變更作業のため特に一時間半くり上げて午後九時半發車に變更される

## 線路工夫新京集結
## 今朝愈々持場へ
### 午前九時半臨時列車出る

ゲージ變更に從事する線路工夫は二十一日正午吉林方面より到着した百余名を始め同日午後四時三十分奉天より三百余名及び二十二日午前六時三十分着チチハルより百六十五名と續々新京に集合今二十二日午前九時四十分發臨時列車で各沿線に配置される

## ゲージ變更實況放送
### 具体策決定

動員で次のやうな全線工事の實況放送を行ふことゝなつた
▲午前六時から三十分間一間堡でゲージ變更工事實況放送（佐藤アナウンサー）
▲午前十一時から二時間陶賴昭において全線工事實況（美濃谷アナウンサー）並に試運轉列車の驛進入狀況（山崎アナウンサー及びハルビン放送局アナウンサー）

をなした

滿洲鐵道史上劃期的な大事業である舊北鐵南部線のゲージ變更は來る三十一日全線一齊に行はれるが新京放送局ではこの未曾有の大工事の實況を全滿に放送するため全局員總

## 弘報係で フイルムに

滿鐵弘報係では既報の通り今回行はれる新京、哈爾濱間二百四十粁に亘る歷史的ゲージ變更の實況を永久に記錄するため、之をフイルムに收める計畫中であつたが廿一日午後より滿鐵囑託のP。C。L映畫製作所技師竹内光雄、寫眞化學研究 小島嘉一の兩氏を新京に派 廿二日午前九時四十分發臨時列車で沿線各地へ配置のため出發する線路工夫約六〇〇名の出發狀況を撮影せんがためホームの下檢分

# 傳染病絶滅を期し
## 戶毎の衞生調査
### 新京署管内の成績良好へ

新京署管内の傳染病の流行狀況を見るに傳染病の最盛期もすでに峠を越へた今日までの發生累計は赤痢百六十八名腸チフス十七名、パラチフス二名、痘瘡二十四名でこれを前年に比べると戶數一千三百戶人口六千名の增加せるにもかゝわらず赤痢患者は十七名、腸チフス二十一名、パラチフス七名、痘瘡十六といふ激減を示してゐる、これが原因は衞生當局が一般に對し徹底的に豫防宣傳につとめ市民の衞生思想を喚起したのと極力豫防錠の服用につとめた結果に他ならないが當局では明年度は更に發生を激減せしめ消化器傳染病は殆んど絶無の域にまで進める意氣込みで附屬地全般に亘り各戶洩れなく衞生調査を行つてゐる

京濱線軌間改築新京支部

廿日看板を掲げた 京濱線軌間改築新京支部

## 傷病兵
### 卅二名通過

拉法及びハルビン方面の第一線にて活躍せる名譽の傷病兵卅二名は廿一日午後四時發列車にて國防婦人會等多數官民の見送りを受け大連經由原隊に歸還した

# 諸建築の相談機關
## 特別市建築礎商所
### 昨日から市公署内に設置

新京特別市では新たに市民建築礎商所規則を制定、二十一附を以て佈告した、同建築礎商所は市公署建築科内に置き市民の建築に關する一切の相談に應じ、建築物に對する市民の認識を啓發し、その福利を增進せんとするもので規則内容は左の通り

### 新京特別市市民建築礎商所規則

第一章　總　則

第一條　本所は新京特別市市民建築礎商所と稱し新京特別市公署建築科内に之を置く

第二條　本所は市民の建築に關する一切の相談に應じ建築物に對する市民の認識を啓發し其の福利を增進せしむることを以て目的とす

第二章　組織及權限

第三條　本所は所長一名所員若干名を以て之を組織す別に必要と認むるときは顧問を置くことを得

第四條　所長は建築科長之に任し所内の事務を統轄し部下の所員を指揮監督す顧問を置きたる場合に於ては所内の事務にして重要又は必要と認むるものは顧問に其の意見を聽くことを得

第五條　所員は建築科員の中より所長之を任免す所員は所長の命を受けて所内の事務を處理し市民に對しては叮嚀親切を旨とすへし

第三章　相談事項及事業

第六條　本特別市市民左の事項に關し質疑あるときは無料にて本所を利用することを得

（一）建築規則及申請手續

（二）建築に關する經濟、保安、衞生及体裁等の事項

（三）其の他建築に關する事項

第七條　建築常識及建築技術に關し一般市民及建築技術者を理解せしむる爲左の事業を行ふ

（一）小册子の發行

（二）定期講習會

第八條　所内の事務に關し年末毎に統計を作成し市長に之を報告す

附　則

第九條　定期講習會細則は別に之を定む

第十條　本規則は公布の日より之を施行す

## 舊北鐵の遺物客貨車
## 解體の運命へ

舊北鐵時代の客貨車は漸次ハルビンに廻送されて目下新京寬城子方面にその影を留めてゐるのは僅かになつた、最後に殘されるのは三十日ハルビン發の最終列車であるが同列車はゲージ變更工事に支障のないやう特に優秀機關車で牽引される、同列車は新京到着後解体してハルビンに廻送される模樣

## 三上和志氏の修養講演

滿鐵主催の修養講演會は來る廿九日夜理事公館に於て開催され奉天一燈園の三上和志氏が講演を行ふ筈である

## 市政事務の簡易化檢討

特別市公署では市勢膨脹に伴ひ日毎に市政繁忙を加ふるに鑑み事務の簡易化、能率增進を圖るに決し、權限代行その他の事項に關し廿一日午前十時より韓市長を始め各處長、各科長出席して會議を開催微細な規定まで右の趣旨に基いて檢討を行つた

工事を急ぐ寬城子トンネル

# 好守好打の白熱戰
## 藤倉電線辛勝
### 對新京倶樂部第一回戰
### 2—1

| 回數 | 一 | 二 | 三 | 四 | 五 | 六 | 七 | 八 | 九 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 藤(先) | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| (新) | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |

東都實業團の雄藤倉電線招聘對新京倶樂部第一回戰は廿一日午後四時十分から西公園球場で二木(球)赤木、高橋(壘)三審判の下に藤倉先攻で開始された、藤倉二回二點を先取すれば新京軍劣らず一點を返しその後兩軍共にチャンスを迎へたが、得點にならず大接戰を交へた結果新京軍惜敗した、この日強豪藤倉軍の活躍振りを見んものと定刻前既に兩翼スタンドは埋つた

一回（藤）眞野、右飛、林投飠、荒川二飠▲（新）梅本兄遊飠、小淵三邪飛、古賀遊飠二回（藤）兒島四球、村川投前犧牲バンドに送らる、粟野四球内海中前安打に滿壘とる、渡邊遊飠に内海二壘に封殺、この間兒島生還一點を先取、畑中前安打粟野生還、眞野二直球▲（新）孫遊擊右を拔く安打片岡左飛、高橋四球梅本三振、川田中前安打に孫一擧本壘に入り、一點を返す小幡三飠高橋封殺

三回（藤）林二飠荒川左翼深く打ち込んだが野手好走して摑む、兒島左飛▲（新）梅本弟左飛小淵遊飠ハンブルに生き、二盜古賀左翼線上に沿ひ深く打ちこんだが野手好走して捕ふ、孫、片岡ともに四球滿壘となる高橋一飛にチャンスを逸す

四回（藤）村川中飛、粟野、内海ともに三飠▲（新）梅本弟遊飠川田三振、小幡左飛

五回（藤）渡邊三飠畑中飛眞野三飛、▲（新）梅本兄三飠小淵二壘失に生き古賀二壘左を拔く安打小淵三盜孫四球滿壘となる（藤倉渡邊投手退き中村峰に變る）片岡遊飠に孫重殺チャンスを逸す

六回（藤）林左飛荒川捕邪飛兒島遊飛▲（新）（藤倉林退き中村變る）高橋三飠梅本弟二飛小田四球小幡遊飠川田封殺

七回（藤）村川中飛、粟野中前安打内海二飠失中村遊飠に内海重殺、▲（新）梅本兄三飠小淵一飠古賀四球孫三振、眞野四球八回（藤）畑三振、眞野四球二盜幡村二飠荒川左飛▲（新）片岡五壘强襲安打高橋遊飠に二盜梅本弟四球川田二飛

九回（藤）兒島左飛、P、H軍司左中間二壘打、粟野投飠に軍司三壘に刺る、粟野二盜を企て捕手の送球に刺る▲（新）小幡死球梅本兄三飠に小幡一擧三進し刺る、小淵右飛閉戰五時四十四分

| 藤倉 | 打 | 得 | 安 | 犧 | 盜 | 三 | 四 | 殘 | 失 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 眞野 | 3 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 |
| 4 林 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 |
| 4 幡村 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 2 荒川 | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 7 兒島 | 3 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 5 村川 | 2 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| PH 軍司 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| 6 粟野 | 3 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 |
| 3 内海 | 3 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 1 渡邊 | 2 | 1 | 6 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 |
| 1 中村 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 8 畑 | 3 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 |

▲二壘打軍司

| 新京 | 打 | 得 | 安 | 犧 | 盜 | 三 | 四 | 殘 | 失 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 5 梅本兄 | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 8 小淵 | 4 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 3 古賀 | 3 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| 9 孫 | 2 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 | 1 | 1 |
| 3 片岡 | 3 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 |
| 1 高橋 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| 7 梅本弟 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 4 川田 | 3 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 6 小幡 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 |

# 全國中等野球優勝戰
## 海を渡る優勝旗
## 松山商業制覇
### 育英商業無念の敗退
### 6—1

熱戰に熱戰を重ねた全國中等野球優勝戰松山商業對育英商業の試合は二十日午後一時五十分から甲子園球場で松山先攻に開始された一回松山二死後伊賀上死球二盜筒井修左中間安打に伊賀上生還一點を先取すれば育英劣らず酒澤三飠惡投に生き三段四球中橋投飠田代三遊間安打に酒澤生還一點を返し同點となる、黑田打者のとき三段スクイズを企て三本間に倒れ黑田三振にチャンスを逸す二、三回兩軍凡退四回松山一死後中山二壘越安打高久保四球、菅遊飠三壘手落球に走者生き滿壘となる、千葉中飛落球に中山、高久保共に本壘快走二點を加へ管一擧三進を企て挾殺田村右前安打千葉生還この間田村二進育英の陣容亂れに乘じ松山此時ばかりに總攻擊を開始し續く龜井第一球を中前安打、田村生還、龜井二盜筒井良遊越安打龍井生還五點の大量を占め俄然優勢を示し勝敗を決した續く伊賀上二壘テキサス、筒井修中飛に終るその後育英奮戰したがおよばず兩軍とも無得點で進み遂に松山劉獻を奏し榮へある大會優勝旗を獲得した、閉戰三時五十分、兩軍得點メンバー左の如くである

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 松山 | 1 | 0 | 0 | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | —6 |
| 育英 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | —1 |

松山　4 龜井　2 筒井良　5 伊賀上　6 筒井修　1 中山　9 高久保　3 菅　7 千葉　8 田村

育英　6 酒澤　4 三段　8 中橋　5 田代　3 黑田　1 佐藤　2 西谷　9 松岡　7 辰己

## 滿鐵主催夏季大學第二日
### 本日午後七時から

滿鐵主催夏季大學第一日たる廿日は聽衆千人に達する盛會であつたが第二日は廿二日午後七時から

## けふの野球試合
## 新京倶對藤倉電線
午後四時西公園球場
後援　新京日日新聞社

訂正　二十二日附夕刊本紙二面「種馬一頭……」標題記事中交配價格とあるは購買價格の誤記につき訂正

## 双山縣公署
### 建國最初の宣撫工作

ペスト種病の調査を兼ねて双山縣公署では近く建國以來最初の全縣下の宣撫工作を行ふことゝなつた

のうち命令患者三十六名で七月に比べ三名の減である内譯は左の通り

△黴　四▲硬性下疳一▲軟性下疳一七▲鼠脫七▲梅毒性淋病一▲バルトリン氏腺炎六

## 妓女檢黴成績
### 七月より良好

新京附屬地内滿人料亭妓女の檢黴は七月より開始れたが豫想を裏切り好成績であつたが八月分は此程終了その結果によれば受檢妓女九百五十六名

## 沿線各署へ
### パスポート手配
### 岡田主任の人情

駐哈獨逸領事K・A・バルゼル氏子息ヘルマツト・ハルゼル（十九）は二十一日午前着の列車でヘルビンより來京十時の列車で南下したが車中にパスポートを紛失してゐたのを新京署員が拾得、岡田高等主任はパスポートがなくては旅行も出來まいと直ちに南滿沿線各署に通知し本人に知らせるやう手配すると共に其の旨哈市獨逸領事館にも通知した

## 廿四日日本料理講習會

地方事務所では例年の好評に鑑み本年も日本料理講習會を來る廿四日午前九時から露月町の家事講習所で開催する事となつたが、竹石吉助氏が講師となつて午後三時まで實習を行ふ筈である、會費五十錢

後七時半から第一日と同じく新京商業學校で「世界經濟より見たる通貨問題（銀問題をも含む）」と題し東大の新進教授荒木光太郎氏の講演がある

# 愛よ戰ひとれ

（映畫化上演）

福田正夫
泉武久畫

（十一）

奇遇（三）

玄關に走ると、太田は歸らう——としてゐる青年巡査を、どうしても引き止めなくてはならないと、すぐ靴ぬぎ石に片足を下して、その袖をつかんでしまつた。

「大瀨さん、どうか、どうか、お願ひです。上つて下さい！」

邦雄はつよく拒んだ。

「いけないんですよ」

「そんなことをいはずに」

「でも、今日は……職務としてうかゞつたんですから、お氣の毒ですけれど、出來ないんです」

「でも、實は……あなたがこのまゝ歸つちやうと、ひとが大變なんです」

「大變？」

「えゝ！」

太田が大仰にうなづいた。「お嬢さんと來たら、とても意地つぱりですからね。自分のいふことが通らないと……」

「ぢやあ、お嬢さんが……」

邦雄はぽつと頬を染めた。

「さうです。……ですから、すみませんが、一寸でいゝです」

「さあ……」

彼がためらつてゐると、そこへ太田の援兵に春世夫人が、白い顔をあらはした。勝美がせがんだからで、——夫の品位を傷つけまいとしてゐる夫人としては、珍らしいことだつたのである。

「いらつしやいまし、大瀨さん！」

「はあ！」

邦雄はかたくなつてしまつた。

「上つて下さいません？」

「いや、その……實は今日は、こちらの女中さんの」

「とにかく上つて下さいません」

「それが出來ませんので、はあ、……女中さんのお靜さん、あの人のことで、是非人命救助の申告をしたいと、お聞きに上つたのです。まだ病院ださうで、その方へまはらうと思ひますから」

太田は袖をつかんだまゝはなさずにゐたのである。

「困ります。それでは……」

「一寸でよいのですから、どうぞ、私からもお願ひしますわ。……お禮にも上るつもりで、まだ出なかつたり……」

「そんなことをおつしやられては……いや、全く」

邦雄は汗をかいてゐた。職務には勇者の彼も、——義理には弱かつた。夫人が自分で出てくる！——彼はすぐうなづいたのである。——

「いけません、大瀨さん！」

夫人が美しい眸でみつめてゐるのだ。

「では上ります」

「おゝ、それは……」

夫人はよろこんだ。

「が、今は困るんです。夜、七時ごろ、……時間のお都合がわるければ、いつて下さればその頃うかゞひします」

「今はどうしてもいけません？」

「はあ、申譯ありませんが」

「では、七時ごろ、お待ちして居りますから……」

「はあ」

彼は出て行つた。

勝美はそれを聞いて、美しい唇をかみしめてしまつたが、どうすることも出來なかつた。——

彼女は心の中で、

「來たら、きつと……」

と、誓つてゐたのである。